

電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正 新旧対照表 (案)

○電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について (20130605 商局第3号)

(傍線部分は改正部分)

改 正 案	現 行
<p>電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について</p> <p>(略)</p> <p>別表第一 電線および電気温床線</p> <p><u>別表第十二に掲げる基準のうち電線および電気温床線に該当する基準を適用するものとする。</u></p> <p>別表第二 ～ 別表第三</p> <p>(略)</p> <p>別表第四 配線器具</p> <p><u>別表第十二に掲げる基準のうち配線器具に該当する基準を適用するものとする</u></p> <p>別表第五 電流制限器</p> <p>1 共通の事項</p>	<p>電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について</p> <p>(略)</p> <p>別表第一 電線および電気温床線</p> <p><u>1 電線 ～ 2 電気温床線</u></p> <p><u>(略)</u></p> <p><u>附表第一 ～ 附表第二十七</u></p> <p><u>(略)</u></p> <p>別表第二 ～ 別表第三</p> <p>(略)</p> <p>別表第四 配線器具</p> <p><u>1 共通の事項 ～ 7 ライティングダクト及びその付属品</u></p> <p><u>(略)</u></p> <p><u>附表第一 ～ 附表第七</u></p> <p><u>(略)</u></p> <p>別表第五 電流制限器</p> <p>1 共通の事項</p>

<p>(1) 材料</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>ホ 屋外用のものの外郭の材料は、耐候性及び耐熱性を有するものであること。</p> <p>「耐候性及び耐熱性を有するもの」とは、陶磁器のもの、さび止め処理を施した鉄又は銅のもの、さび難い金属のもの、合成ゴムのもの又は<u>電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部を改正する通達（202xxxxx保局第xx号）による改正前の解釈（以下「旧解釈」という。）</u>別表第四 2（2）ニに適合する合成樹脂のものをいう。</p> <p>へ～チ (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 充電部には、通常の使用状態において、<u>旧解釈</u>別表第四 1（2）ハに掲げる試験指が触れないこと。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。ただし、電線取付け部であって、外かくの外表面から次の値以上沈んでいる充電部にあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>ハ～ネ (略)</p> <p>ナ 電源電線の取付け端子のねじの有効ねじ部の長さは、呼び径が 8 mm 未満のものにあつては 2 ピッチ以上、呼び径が 8 mm 以上のものにあつては呼び径の 40%以上であること。ただし、端子枠内面に部分ねじ部を有する呼び径が 8 mm 以上のものであつて、次に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) (略)</p>	<p>(1) 材料</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>ホ 屋外用のものの外郭の材料は、耐候性及び耐熱性を有するものであること。</p> <p>「耐候性及び耐熱性を有するもの」とは、陶磁器のもの、さび止め処理を施した鉄又は銅のもの、さび難い金属のもの、合成ゴムのもの又は別表第四 2（2）ニに適合する合成樹脂のものをいう。</p> <p>へ～チ (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 充電部には、通常の使用状態において、別表第四 1（2）ハに掲げる試験指が触れないこと。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。ただし、電線取付け部であって、外かくの外表面から次の値以上沈んでいる充電部にあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>ハ～ネ (略)</p> <p>ナ 電源電線の取付け端子のねじの有効ねじ部の長さは、呼び径が 8 mm 未満のものにあつては 2 ピッチ以上、呼び径が 8 mm 以上のものにあつては呼び径の 40%以上であること。ただし、端子枠内面に部分ねじ部を有する呼び径が 8 mm 以上のものであつて、次に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) (略)</p>
--	---

<p>(ロ) <u>旧解釈別表第四附表第一</u>の試験を 5 回繰り返して行ったとき、これに適合すること。</p> <p>ム～ヰ (略)</p> <p>ノ 絶縁物 (单相 3 線式のもののベクトル合成用の異極コイル間の部分を除く。) の厚さについては、<u>旧解釈別表第四 1 (2) レ</u>の規定を準用すること。</p> <p>オ (略)</p> <p>ク 主回路の電線端子部は、次によること。</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 端子部の強度は次に適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b ねじの先端で押し締める構造のものにあつては、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合する絶縁電線であつて、ク (イ) a の表に掲げる太さのものを接続し、a の表に掲げるトルクを加えて締め付けたとき、異状が生じないこと。</p> <p>c～d (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>2 アンペア制用電流制限器</p> <p>(1)～(10) (略)</p> <p>(11) 注水絶縁性能</p> <p>屋外用のものにあつては、試験品を通常の使用状態に取り付け、<u>旧解釈別表第四附表第四 3 または 4</u>に規定する試験方法により注水した後、その試験品について附表第一の試験を行ったとき、絶縁抵抗が $5\text{M}\Omega$</p>	<p>(ロ) 別表第四附表第一の試験を 5 回繰り返して行ったとき、これに適合すること。</p> <p>ム～ヰ (略)</p> <p>ノ 絶縁物 (单相 3 線式のもののベクトル合成用の異極コイル間の部分を除く。) の厚さについては、別表第四 1 (2) レの規定を準用すること。</p> <p>オ (略)</p> <p>ク 主回路の電線端子部は、次によること。</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 端子部の強度は次に適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b ねじの先端で押し締める構造のものにあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する絶縁電線であつて、ク (イ) a の表に掲げる太さのものを接続し、a の表に掲げるトルクを加えて締め付けたとき、異状が生じないこと。</p> <p>c～d (略)</p> <p>(3) (略)</p> <p>2 アンペア制用電流制限器</p> <p>(1)～(10) (略)</p> <p>(11) 注水絶縁性能</p> <p>屋外用のものにあつては、試験品を通常の使用状態に取り付け、別表第四附表第四 3 または 4 に規定する試験方法により注水した後、その試験品について附表第一の試験を行ったとき、絶縁抵抗が $5\text{M}\Omega$ 以上</p>
---	---

<p>以上であり、かつ、附表第二の試験を行ったとき、これに適合すること。</p> <p>(12) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>附表 (略)</p> <p>別表第六 小形单相変圧器及び放電灯用安定器</p> <p>1 共通の事項</p> <p>(1) 材料</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 電気絶縁物及び熱絶縁物は、これに接触又は近接した部分の温度に十分耐え、かつ、吸湿性の少ないものであること。この場合、<u>旧解釈別表第四1(1)ロの(イ)から(ト)に適合すること。ただし、吸湿性の熱絶縁物であって、通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</u></p> <p>ハ～ヌ (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ 通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものであって、形状が正しく、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であること。この場合、<u>旧解釈別表第四1(2)イ(イ)及び(ロ)によること。</u></p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>ヘ 極性が異なる充電部相互間、充電部とアースするおそれのある非充電金属部との間及び機械器具に組み込まれるもの以外のものの充電</p>	<p>であり、かつ、附表第二の試験を行ったとき、これに適合すること。</p> <p>(12) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>附表 (略)</p> <p>別表第六 小形单相変圧器及び放電灯用安定器</p> <p>1 共通の事項</p> <p>(1) 材料</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 電気絶縁物及び熱絶縁物は、これに接触又は近接した部分の温度に十分耐え、かつ、吸湿性の少ないものであること。この場合、別表第四1(1)ロの(イ)から(ト)に適合すること。ただし、吸湿性の熱絶縁物であって、通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>ハ～ヌ (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ 通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものであって、形状が正しく、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であること。この場合、別表第四1(2)イ(イ)及び(ロ)によること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>ヘ 極性が異なる充電部相互間、充電部とアースするおそれのある非充電金属部との間及び機械器具に組み込まれるもの以外のものの充電</p>
---	---

<p>部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間の空間距離(沿面距離を含む。)は、器具又は器具の部分ごとにそれぞれ次の表に適合すること。ただし、絶縁変圧器の2次側の回路、整流後の回路等の構造上やむを得ない部分であって、次の試験を行ったとき、これに適合するものにあつては、この限りでない。この場合の用語の定義は、<u>旧解釈別表第四1(2)タ(イ)h及びi</u>による。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ)極性が異なる充電部相互間又は充電部と人が触れるおそれのある非充電金属部との間を接続した場合に、その非充電金属部又は露出する充電部が次のいずれかに適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b $1k\Omega$ の抵抗を大地との間及び線間並びに非充電金属部と充電部との間に接続したとき、当該抵抗に流れる電流は、商用周波数以上の周波数において感電の危険が生ずるおそれのない場合を除き、$1mA$ 以下であること。</p> <p><u>旧解釈別表第四1(2)ハ(ハ)b(a)から(c)</u>に適合すること。(以下別表第六において同じ。)</p> <p>(二) (略)</p> <p>ト 絶縁物の厚さについては、<u>旧解釈別表第四1(2)レ</u>の規定を準用すること。</p> <p>チ～ヲ (略)</p> <p>ワ 外郭は、機械器具に組み込まれるもの以外の場合にあつては、質量が $250g$ で、ロックウェル硬度 $R100$ の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mmの球面を有するおもりを次の表に示す高さから垂直に落としたとき、又はこれと同等の衝撃力をロックウェル硬度 $R100$ の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mmの球面を有す</p>	<p>部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間の空間距離(沿面距離を含む。)は、器具又は器具の部分ごとにそれぞれ次の表に適合すること。ただし、絶縁変圧器の2次側の回路、整流後の回路等の構造上やむを得ない部分であって、次の試験を行ったとき、これに適合するものにあつては、この限りでない。この場合の用語の定義は、<u>別表第四1(2)タ(イ)h及びi</u>による。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ)極性が異なる充電部相互間又は充電部と人が触れるおそれのある非充電金属部との間を接続した場合に、その非充電金属部又は露出する充電部が次のいずれかに適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b $1k\Omega$ の抵抗を大地との間及び線間並びに非充電金属部と充電部との間に接続したとき、当該抵抗に流れる電流は、商用周波数以上の周波数において感電の危険が生ずるおそれのない場合を除き、$1mA$ 以下であること。</p> <p><u>別表第四1(2)ハ(ハ)b(a)から(c)</u>に適合すること。(以下別表第六において同じ。)</p> <p>(二) (略)</p> <p>ト 絶縁物の厚さについては、<u>別表第四1(2)レ</u>の規定を準用すること。</p> <p>チ～ヲ (略)</p> <p>ワ 外郭は、機械器具に組み込まれるもの以外の場合にあつては、質量が $250g$ で、ロックウェル硬度 $R100$ の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mmの球面を有するおもりを次の表に示す高さから垂直に落としたとき、又はこれと同等の衝撃力をロックウェル硬度 $R100$ の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mmの球面を有す</p>
--	---

る衝撃片によって 1 回加えたとき、感電、火災等の危険を生ずるおそれのあるひび、割れその他の異状が生じないこと。ただし、器体の外面に露出している表示灯、ヒューズホルダーその他これらに類するもの及びそれらの保護カバーであって、表面積が 4cm² 以下であり、かつ、器体の外郭の表面から 10 mm以上突出していないものにあつては、この限りでない。

種類	高さ (cm)
天井取り付け用器具	14
その他のもの	20

なお、旧解釈別表第四 1 (2) レ (イ) d に規定された衝撃力も同等の衝撃力とみなす。

カ～レ (略)

ソ アース線及びアース用端子の表示は、次に適合すること。

(イ) アース線には、そのもの又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは旧解釈別表第四 1 (2) ネ (イ) a 及び b による。ただし、アース線に緑と黄の配色を施した電線にあつては、この限りでない。

(ロ) アース用端子には、そのもの(容易に取り外せる端子ねじを除く。)又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは旧解釈別表第四 1 (2) ネ (ロ) a から d による。ただし、器体の内部にあるアース用端子であつてアース線を取り換えることができないものにあつては、この限りでない。

ツ～ム (略)

る衝撃片によって 1 回加えたとき、感電、火災等の危険を生ずるおそれのあるひび、割れその他の異状が生じないこと。ただし、器体の外面に露出している表示灯、ヒューズホルダーその他これらに類するもの及びそれらの保護カバーであって、表面積が 4cm² 以下であり、かつ、器体の外郭の表面から 10 mm以上突出していないものにあつては、この限りでない。

種類	高さ (cm)
天井取り付け用器具	14
その他のもの	20

なお、別表第四 1 (2) レ (イ) d に規定された衝撃力も同等の衝撃力とみなす。

カ～レ (略)

ソ アース線及びアース用端子の表示は、次に適合すること。

(イ) アース線には、そのもの又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは別表第四 1 (2) ネ (イ) a 及び b による。ただし、アース線に緑と黄の配色を施した電線にあつては、この限りでない。

(ロ) アース用端子には、そのもの(容易に取り外せる端子ねじを除く。)又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは別表第四 1 (2) ネ (ロ) a から d による。ただし、器体の内部にあるアース用端子であつてアース線を取り換えることができないものにあつては、この限りでない。

ツ～ム (略)

<p>ウ 電源電線等（口出し線を除く。以下ウにおいて同じ。）の器体の貫通部は、機械器具に組み込まれるもの以外の場合にあっては、<u>旧解釈別表第四 1（2）ラ</u>に適合すること。ただし、固定して使用するもの、据置き形のものその他これに類するものであって、通常の使用状態において定置して使用するものにあっては、この限りでない。</p> <p>キ （略）</p> <p>（3）部品および附属品</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 電源電線等は、次に適合すること。</p> <p>（イ） 電源電線は、この表に特別に規定するものを除き、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するものであって、かつ、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a～b （略）</p> <p>（ロ）器具間を接続する電線及び機能上やむを得ず器体の外部に露出する電線は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a 次の表の左欄に掲げる接続される回路の電圧の区分ごとに同表の右欄に適合するものであり、かつ、100N の引張荷重を 15 秒間加えたとき、素線の断線、絶縁物の異状等が生じないこと。ただし、電子回路の入出力信号の微小電流回路、地絡電流が 1mA 以下（商用周波数以上の周波数において危険が生ずるおそれのない場合にあっては、1mA 以下であることを要しない。）の回路等を使用するものであって、適切な絶縁被覆を有するものにあっては、この限りでない。</p>	<p>ウ 電源電線等（口出し線を除く。以下ウにおいて同じ。）の器体の貫通部は、機械器具に組み込まれるもの以外の場合にあっては、別表第四 1（2）ラに適合すること。ただし、固定して使用するもの、据置き形のものその他これに類するものであって、通常の使用状態において定置して使用するものにあっては、この限りでない。</p> <p>キ （略）</p> <p>（3）部品および附属品</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 電源電線等は、次に適合すること。</p> <p>（イ） 電源電線は、この表に特別に規定するものを除き、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものであって、かつ、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a～b （略）</p> <p>（ロ）器具間を接続する電線及び機能上やむを得ず器体の外部に露出する電線は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a 次の表の左欄に掲げる接続される回路の電圧の区分ごとに同表の右欄に適合するものであり、かつ、100N の引張荷重を 15 秒間加えたとき、素線の断線、絶縁物の異状等が生じないこと。ただし、電子回路の入出力信号の微小電流回路、地絡電流が 1mA 以下（商用周波数以上の周波数において危険が生ずるおそれのない場合にあっては、1mA 以下であることを要しない。）の回路等を使用するものであって、適切な絶縁被覆を有するものにあっては、この限りでない。</p>
--	--

接続される回路の電圧の区分	電線	接続される回路の電圧の区分	電線
交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下	(略)	交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下	(略)
60V を超え 150V 以下	旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、断面積が 0.75 mm^2 以上のもの又は断面積が 0.75 mm^2 (手持ち形の部分(コンローラーを含む。)) 2 に至る 0.5 A 以下の回路に使用するものにあつては、 0.5 mm^2 以上であつて、試料 2 m を 1 時間清水中に浸し、単心のものは導体と大地との間に、多心のものは導体相互間及び導体と大地との間に $1,000 \text{ V}$ の交流電圧を加えたとき、連続して 1 分間これに耐えるもの	60V を超え 150V 以下	別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、断面積が 0.75 mm^2 以上のもの又は断面積が 0.75 mm^2 (手持ち形の部分(コンローラーを含む。)) 2 に至る 0.5 A 以下の回路に使用するものにあつては、 0.5 mm^2 以上であつて、試料 2 m を 1 時間清水中に浸し、単心のものは導体と大地との間に、多心のものは導体相互間及び導体と大地との間に $1,000 \text{ V}$ の交流電圧を加えたとき、連続して 1 分間これに耐えるもの
150V を超え 300V 以下	(略)	150V を超え 300V 以下	(略)
300V を超えるもの	(略)	300V を超えるもの	(略)
<p>b 旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものであつて、その長さ 2 m 以下で、かつ、その断面積が 0.5 mm^2 以上であること(電源供給側の器具の内部に定格遮断電流が 500 A 以上であつて、定格電流が 3 A 以下のヒューズ又は過負荷保護装置を備えてある場合に限る。))。</p> <p>(ハ) ～ (ニ) (略)</p>		<p>b 別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものであつて、その長さ 2 m 以下で、かつ、その断面積が 0.5 mm^2 以上であること(電源供給側の器具の内部に定格遮断電流が 500 A 以上であつて、定格電流が 3 A 以下のヒューズ又は過負荷保護装置を備えてある場合に限る。))。</p> <p>(ハ) ～ (ニ) (略)</p>	

ハ～ニ (略)

ホ 点滅器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、旧解釈別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 2 (1) イ及びハ並びに 2 (2) ロ、ヘ、ト、リ及びヌの規定に適合すること。この場合において、旧解釈別表第四附表第二 1 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。開閉試験は旧解釈別表第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。

ヘ 開閉器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、旧解釈別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 3 (1) ロ、ハ、ヘ、ト、ヌ及びヲ並びに 3 (3) イ、チ、リ、ル、ワ、カ及びヨの規定に適合すること。この場合において、旧解釈別表第四附表第二 2 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。開閉試験は旧解釈別表第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。

ト 接続器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、旧解釈別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム、ノ及びク並びに 6 (1) イ、ハ、ニ及びホ並びに 6 (3) ロ、ハ、ヘ、ト、チ、リ、ヌ及びルの規定に適合すること。この場合において、組立て時の便宜性のため使用する

ハ～ニ (略)

ホ 点滅器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 2 (1) イ及びハ並びに 2 (2) ロ、ヘ、ト、リ及びヌの規定に適合すること。この場合において、別表第四附表第二 1 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。開閉試験は別表第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。

ヘ 開閉器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 3 (1) ロ、ハ、ヘ、ト、ヌ及びヲ並びに 3 (3) イ、チ、リ、ル、ワ、カ及びヨの規定に適合すること。この場合において、別表第四附表第二 2 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。開閉試験は別表第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。

ト 接続器(線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用するものであって、感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム、ノ及びク並びに 6 (1) イ、ハ、ニ及びホ並びに 6 (3) ロ、ハ、ヘ、ト、チ、リ、ヌ及びルの規定に適合すること。この場合において、組立て時の便宜性のため使用する器内配線相互の接続用部品は、トにおいて「接続器」とはみなさない。

<p>器内配線相互の接続用部品は、トにおいて「接続器」とはみなさない。 チ コンデンサーは、<u>旧解釈別表第四 1</u>（3）チ（ハ）を除く。）の規定に適合すること。 リ～ヌ （略）</p> <p>（4）～（5） （略）</p> <p>2 ベル用変圧器、おもちゃ用変圧器その他の家庭機器用変圧器、表示器用変圧器およびリモートコントロールリレー用変圧器</p> <p>（1）構造</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 充電部（絶縁変圧器の 2 次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂製の外かくによりおおわれており、かつ、容易に取りはずすことができる部分を取りはずし、次の（イ）及び（ロ）に掲げる試験を<u>旧解釈別表第四 1</u>（2）ハの図に示す試験指を用いて行ったとき、これに適合すること。ただし、金属製ボックス内用である旨を表示するもの及び取り付けた状態で容易に人が触れるおそれのない取付け面にあつては、この限りでない。</p> <p>（イ）～（ロ） （略）</p> <p>ハ～リ （略）</p> <p>（2）～（8） （略）</p> <p>2 の 2 電子応用機械器具用変圧器</p> <p>（1）構造</p>	<p>チ コンデンサーは、別表第四 1（3）チ（ハ）を除く。）の規定に適合すること。 リ～ヌ （略）</p> <p>（4）～（5） （略）</p> <p>2 ベル用変圧器、おもちゃ用変圧器その他の家庭機器用変圧器、表示器用変圧器およびリモートコントロールリレー用変圧器</p> <p>（1）構造</p> <p>イ （略）</p> <p>ロ 充電部（絶縁変圧器の 2 次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂製の外かくによりおおわれており、かつ、容易に取りはずすことができる部分を取りはずし、次の（イ）及び（ロ）に掲げる試験を別表第四 1（2）ハの図に示す試験指を用いて行ったとき、これに適合すること。ただし、金属製ボックス内用である旨を表示するもの及び取り付けた状態で容易に人が触れるおそれのない取付け面にあつては、この限りでない。</p> <p>（イ）～（ロ） （略）</p> <p>ハ～リ （略）</p> <p>（2）～（8） （略）</p> <p>2 の 2 電子応用機械器具用変圧器</p> <p>（1）構造</p>
---	---

<p>イ 充電部（絶縁変圧器の２次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。以下イにおいて同じ。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂製の外郭により覆われており、かつ、容易に取り外すことができる部分を取り外し、<u>旧解釈</u>別表第四 1（２）ハの図に示す試験指を用いて器体の外面及び開口部を 30N の圧力で押したとき、試験指が充電部に触れないこと。ただし、機械器具に組み込まれるものにあつては、この限りでない。</p> <p>ロ～二 （略）</p> <p>（２）～（６） （略）</p> <p>２の３ 燃焼器具用変圧器</p> <p>（１）構造</p> <p>イ～ロ （略）</p> <p>ハ 変圧器から容易に取り外すことができる部分を取り外し、<u>旧解釈</u>別表第四 1（２）ハの図に示す試験指を用いて器体の外面及び開口部を 30N の圧力で押したとき、試験指が充電部（バーナー本体に取り付けて使用する構造のものであつて高圧がいしを有するものの端子部を除く。）に触れないこと。ただし、機械器具に組み込まれるもののうち定格２次電圧が 30V を超えるものであつて巻線を耐火性を有する外被により十分保護してあるもの及び定格２次電圧が 30V 以下のものにあつては、この限りでない。</p> <p>ヒューズホルダーのキャップ又はカバーであつて、工具を用いずにそれらを外したとき、ヒューズがキャップ又はカバーと共に外れる構造のものは、ヒューズを取り外した後に試験を行う。</p> <p>二～カ （略）</p>	<p>イ 充電部（絶縁変圧器の２次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。以下イにおいて同じ。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂製の外郭により覆われており、かつ、容易に取り外すことができる部分を取り外し、別表第四 1（２）ハの図に示す試験指を用いて器体の外面及び開口部を 30N の圧力で押したとき、試験指が充電部に触れないこと。ただし、機械器具に組み込まれるものにあつては、この限りでない。</p> <p>ロ～二 （略）</p> <p>（２）～（６） （略）</p> <p>２の３ 燃焼器具用変圧器</p> <p>（１）構造</p> <p>イ～ロ （略）</p> <p>ハ 変圧器から容易に取り外すことができる部分を取り外し、別表第四 1（２）ハの図に示す試験指を用いて器体の外面及び開口部を 30N の圧力で押したとき、試験指が充電部（バーナー本体に取り付けて使用する構造のものであつて高圧がいしを有するものの端子部を除く。）に触れないこと。ただし、機械器具に組み込まれるもののうち定格２次電圧が 30V を超えるものであつて巻線を耐火性を有する外被により十分保護してあるもの及び定格２次電圧が 30V 以下のものにあつては、この限りでない。</p> <p>ヒューズホルダーのキャップ又はカバーであつて、工具を用いずにそれらを外したとき、ヒューズがキャップ又はカバーと共に外れる構造のものは、ヒューズを取り外した後に試験を行う。</p> <p>二～カ （略）</p>
---	---

<p>(2) ~ (6) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 蛍光灯用安定器、水銀灯用安定器その他の高圧放電灯用安定器、ナトリウム灯用安定器及び殺菌灯用安定器</p> <p>(1) 構造</p> <p>イ〜ハ (略)</p> <p>ニ 口出し線は、次に適合すること。</p> <p>(イ) <u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線（屋外用のものにあつては、キャブタイヤケーブル又は絶縁電線に限る。）であつて、断面積が 0.75mm^2 以上のものであること。ただし、定格電圧が 300V 以下の蛍光灯用安定器及び殺菌灯用安定器にあつては、負荷側の口出し線又はその構造上直接電源に接続されることのない電源側の口出し線若しくはその表示する接続図により直接電源に接続されない旨が示されている電源側の口出し線について、電灯器具内用である旨を表示する場合に限り、断面積が 0.5mm^2 のゴムコード又はビニルコードを使用することができる。</p> <p>(2) ~ (8) (略)</p> <p>5 電圧調整器</p> <p>(1) 構造</p> <p>イ 充電部（絶縁変圧器の2次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂</p>	<p>(2) ~ (6) (略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 蛍光灯用安定器、水銀灯用安定器その他の高圧放電灯用安定器、ナトリウム灯用安定器及び殺菌灯用安定器</p> <p>(1) 構造</p> <p>イ〜ハ (略)</p> <p>ニ 口出し線は、次に適合すること。</p> <p>(イ) 別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線（屋外用のものにあつては、キャブタイヤケーブル又は絶縁電線に限る。）であつて、断面積が 0.75mm^2 以上のものであること。ただし、定格電圧が 300V 以下の蛍光灯用安定器及び殺菌灯用安定器にあつては、負荷側の口出し線又はその構造上直接電源に接続されることのない電源側の口出し線若しくはその表示する接続図により直接電源に接続されない旨が示されている電源側の口出し線について、電灯器具内用である旨を表示する場合に限り、断面積が 0.5mm^2 のゴムコード又はビニルコードを使用することができる。</p> <p>(2) ~ (8) (略)</p> <p>5 電圧調整器</p> <p>(1) 構造</p> <p>イ 充電部（絶縁変圧器の2次側の回路の電圧が 30V 以下の充電部及び口出し線を除く。）及び鉄心部は、金属製、陶磁器製又は合成樹脂</p>
--	--

<p>製の外かくによりおおわれており、かつ、容易に取りはずすことができる部分を取りはずし、次の（イ）から（二）に掲げる試験を旧解釈別表第四１（２）ハの図に示す試験指を用いて行ったとき、これに適合すること。</p> <p>なお、カバー付ナイフスイッチ、カバースイッチ等を使用する場合は、端子部等の充電部が容易に露出しないこと。</p> <p>ロ～ホ （略）</p> <p>（２）～（５） （略）</p> <p>附表 （略）</p> <p>別表第七 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第二第六号に掲げる小形交流電動機</p> <p><u>別表第十二に掲げる基準のうち電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第二第六号に掲げる小形交流電動機に該当する基準を適用するものとする。</u></p> <p>別表第八 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機</p> <p>１ 共通の事項</p>	<p>製の外かくによりおおわれており、かつ、容易に取りはずすことができる部分を取りはずし、次の（イ）から（二）に掲げる試験を別表第四１（２）ハの図に示す試験指を用いて行ったとき、これに適合すること。</p> <p>なお、カバー付ナイフスイッチ、カバースイッチ等を使用する場合は、端子部等の充電部が容易に露出しないこと。</p> <p>ロ～ホ （略）</p> <p>（２）～（５） （略）</p> <p>附表 （略）</p> <p>別表第七 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第二第六号に掲げる小形交流電動機</p> <p><u>１ 共通の事項 ～ ３ 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第二第六号（２）に掲げるかご形３相誘導電動機（略）</u></p> <p><u>附表 電気用品の表示の方式（略）</u></p> <p>別表第八 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具並びに携帯発電機</p> <p>１ 共通の事項</p>
---	--

<p>(1) 材料</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 電気絶縁物及び熱絶縁物は、これに接触又は近接する部分の温度に十分耐え、かつ、吸湿性の少ないものであること。この場合、<u>旧解釈別表第四 1 (1) ロ (イ) から (ト) に適合すること</u>。ただし、吸湿性の熱絶縁物であって、通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>ハ〜ル (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 遠隔操作機構を有するものにあつては、器体スイッチ又はコントローラーの操作以外によつては、電源回路の閉路を行えないものであること。ただし、危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) <u>旧解釈別表第四 1 (2) ロ (イ) に同じ</u>。</p> <p>(ロ) 「危険が生ずるおそれのないもの」とは、次の a 又は b のいずれかのものをいう。</p> <p>a (略)</p> <p>b 通信回線 (<u>旧解釈別表第四 1 (2) ロ (イ) に掲げるものを除く</u>。)を利用した遠隔操作機構を有する機器で次の全てに適合するもの。</p> <p>(a) 〜 (d) (略)</p> <p>(e) 通信回線 (<u>旧解釈別表第四 1 (2) ロ (イ) に掲げるもの及び公衆回線を除く</u>。)において、次の対策を遠隔操作される機器側に講じていること。</p>	<p>(1) 材料</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 電気絶縁物及び熱絶縁物は、これに接触又は近接する部分の温度に十分耐え、かつ、吸湿性の少ないものであること。この場合、別表第四 1 (1) ロ (イ) から (ト) に適合すること。ただし、吸湿性の熱絶縁物であって、通常の使用状態において危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>ハ〜ル (略)</p> <p>(2) 構造</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 遠隔操作機構を有するものにあつては、器体スイッチ又はコントローラーの操作以外によつては、電源回路の閉路を行えないものであること。ただし、危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>(イ) 別表第四 1 (2) ロ (イ) に同じ。</p> <p>(ロ) 「危険が生ずるおそれのないもの」とは、次の a 又は b のいずれかのものをいう。</p> <p>a (略)</p> <p>b 通信回線 (別表第四 1 (2) ロ (イ) に掲げるものを除く。)を利用した遠隔操作機構を有する機器で次の全てに適合するもの。</p> <p>(a) 〜 (d) (略)</p> <p>(e) 通信回線 (別表第四 1 (2) ロ (イ) に掲げるもの及び公衆回線を除く。)において、次の対策を遠隔操作される機器側に講じていること。</p>
---	---

<p>i～iii (略)</p> <p>(f) ～ (i) (略)</p> <p>ハ～ホ (略)</p> <p>ヘ 充電部には、次に掲げるものを除き、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で旧解釈別表第四 1 (2) ハの図に示す試験指が触れないこと。</p> <p>管球類を使用するものにあつては、これらを通常動作状態に装着した状態で試験を行う。</p> <p>「試験指」に加える力は、30N とする。ただし、卓上形のものの底面、床上形のもの（据置き形のものに限る。）の裏面及び底面（器体の質量が 40kg を超えるもので、床面から器体の底面までの高さが 5 cm 以下のものにあつては、その高さの 2 倍の長さを底面の外縁から内側に及ぼした範囲）並びに天井取付け形（容易に人が触れるおそれのない場所に取り付けるものを含む。）のものの外面及び開口部にあつては 10N とする。</p> <p>携帯用テレビジョンカメラのレンズ用マウントの内部にあつては、試験指に加える力は、10N とする。</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 構造上充電部を露出して使用することがやむをえない器具の露出する充電部であつて、絶縁変圧器に接続された 2 次側の回路の対地電圧及び線間電圧が交流にあつては 30V 以下、直流にあつては 45V 以下のもの並びに 1kΩ の抵抗を大地との間及び線間に接続した場合に当該抵抗に流れる電流が、商用周波数以上の周波数において感電の危険が生ずるおそれのない場合を除き、1mA 以下のもの</p> <p>a (略)</p>	<p>i～iii (略)</p> <p>(f) ～ (i) (略)</p> <p>ハ～ホ (略)</p> <p>ヘ 充電部には、次に掲げるものを除き、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で別表第四 1 (2) ハの図に示す試験指が触れないこと。</p> <p>管球類を使用するものにあつては、これらを通常動作状態に装着した状態で試験を行う。</p> <p>「試験指」に加える力は、30N とする。ただし、卓上形のものの底面、床上形のもの（据置き形のものに限る。）の裏面及び底面（器体の質量が 40kg を超えるもので、床面から器体の底面までの高さが 5 cm 以下のものにあつては、その高さの 2 倍の長さを底面の外縁から内側に及ぼした範囲）並びに天井取付け形（容易に人が触れるおそれのない場所に取り付けるものを含む。）のものの外面及び開口部にあつては 10N とする。</p> <p>携帯用テレビジョンカメラのレンズ用マウントの内部にあつては、試験指に加える力は、10N とする。</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 構造上充電部を露出して使用することがやむをえない器具の露出する充電部であつて、絶縁変圧器に接続された 2 次側の回路の対地電圧及び線間電圧が交流にあつては 30V 以下、直流にあつては 45V 以下のもの並びに 1kΩ の抵抗を大地との間及び線間に接続した場合に当該抵抗に流れる電流が、商用周波数以上の周波数において感電の危険が生ずるおそれのない場合を除き、1mA 以下のもの</p> <p>a (略)</p>
---	--

b 旧解釈別表第四 1 (2) ハ (ハ) b (a) から (c) に同じ。(以下別表第八において同じ。)

c (略)

(二) ～ (ホ) (略)

ト 極性が異なる充電部相互間、充電部とアースするおそれのある非充電金属部との間及び充電部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間の空間距離(沿面距離を含む。)は、器具又は器具の部分ごとにそれぞれ次の表に適合すること。ただし、(イ) から (ハ) に掲げる部分にあっては、この限りでない。

「充電部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間」の空間距離(沿面距離を含む。)は、開口部(くぼみを含む。)を有するものにあっては、旧解釈別表第四 1 (2) タ (イ) f による。

造営材等に取り付けた状態で容易に人が触れるおそれのない取付け面側の充電部と取付け面との「空間距離(沿面距離を含む。)」は、規定された値(最低 6 mm とする。)以上であること。

器具又は器具の部分の区分		空間距離(沿面距離を含む。)
イ 電気かみそり、電気バリカン、電気つめみがき機、電気ナイフ、電気歯ブラシ及び電気はさみ並びに手持ち形の電気マッサージ器、電気吸入器及びエレクトロニックフラッシュ(これらのうちハ及びニに掲げる部分を除く。)		附表第一の値以上
ロ イに掲げるもの以外のもの(これらのうちハ及びニに掲げる部分を除く。)		附表第二の値以上
ハ 線間電圧又は対地電圧が 15V 以下の充電部分(使用者が接続するねじ止め端子部を除く。)	耐湿性の絶縁被膜を有するもの	0.5 mm 以上
	その他のもの	1 mm 以上

b 別表第四 1 (2) ハ (ハ) b (a) から (c) に同じ。(以下別表第八において同じ。)

c (略)

(二) ～ (ホ) (略)

ト 極性が異なる充電部相互間、充電部とアースするおそれのある非充電金属部との間及び充電部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間の空間距離(沿面距離を含む。)は、器具又は器具の部分ごとにそれぞれ次の表に適合すること。ただし、(イ) から (ハ) に掲げる部分にあっては、この限りでない。

「充電部と人が触れるおそれのある非金属部の表面との間」の空間距離(沿面距離を含む。)は、開口部(くぼみを含む。)を有するものにあっては、別表第四 1 (2) タ (イ) f による。

造営材等に取り付けた状態で容易に人が触れるおそれのない取付け面側の充電部と取付け面との「空間距離(沿面距離を含む。)」は、規定された値(最低 6 mm とする。)以上であること。

器具又は器具の部分の区分		空間距離(沿面距離を含む。)
イ 電気かみそり、電気バリカン、電気つめみがき機、電気ナイフ、電気歯ブラシ及び電気はさみ並びに手持ち形の電気マッサージ器、電気吸入器及びエレクトロニックフラッシュ(これらのうちハ及びニに掲げる部分を除く。)		附表第一の値以上
ロ イに掲げるもの以外のもの(これらのうちハ及びニに掲げる部分を除く。)		附表第二の値以上
ハ 線間電圧又は対地電圧が 15V 以下の充電部分(使用者が接続するねじ止め端子部を除く。)	耐湿性の絶縁被膜を有するもの	0.5 mm 以上
	その他のもの	1 mm 以上

ニ 電動機の整流子部	旧解釈別表第七 1 (2) ニの表の値 (電動機に定格出力の表示がないものにあつては、通常の使用状態における入力 の 65% を定格出力とした場合の表の値) 以上	ニ 電動機の整流子部	別表第七 1 (2) ニの表の値 (電動機に定格出力の表示がないものにあつては、通常の使用状態における入力 の 65% を定格出力とした場合の表の値) 以上
<p>(備考) 空間距離は、器具の外表面にあつては 30N、器具の内部にあつては 2N の力を距離が最も小さくなるように加えて測定したときの距離とする。</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 絶縁変圧器の 2 次側の回路、整流後の回路等の構造上やむを得ない部分であつて、次の試験を行ったとき、これに適合するもの。この場合の用語の定義は、旧解釈別表第四 1 (2) タ (イ) h 及び i による。</p> <p>a 極性が異なる充電部相互間を短絡した場合に、短絡回路に接続された部品が燃焼しないこと。ただし、当該回路に接続されている 1 の部品が燃焼した場合において他の部品が燃焼するおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>この場合の試験方法は次による。</p> <p>(a) 旧解釈別表第四 1 (2) タ (ロ) a (a) から (d) に同じ。</p> <p>(b) (略)</p> <p>b ~ d (略)</p> <p>(ハ) (略)</p> <p>チ 絶縁物の厚さについては、旧解釈別表第四 1 (2) レの規定を準用すること。</p> <p>リ ~ ヲ (略)</p> <p>ワ 器具間を接続する電線 (旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものを除く。) が短絡、過電流等の異常を生じたとき動作する</p>		<p>(備考) 空間距離は、器具の外表面にあつては 30N、器具の内部にあつては 2N の力を距離が最も小さくなるように加えて測定したときの距離とする。</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 絶縁変圧器の 2 次側の回路、整流後の回路等の構造上やむを得ない部分であつて、次の試験を行ったとき、これに適合するもの。この場合の用語の定義は、別表第四 1 (2) タ (イ) h 及び i による。</p> <p>a 極性が異なる充電部相互間を短絡した場合に、短絡回路に接続された部品が燃焼しないこと。ただし、当該回路に接続されている 1 の部品が燃焼した場合において他の部品が燃焼するおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>この場合の試験方法は次による。</p> <p>(a) 別表第四 1 (2) タ (ロ) a (a) から (d) に同じ。</p> <p>(b) (略)</p> <p>b ~ d (略)</p> <p>(ハ) (略)</p> <p>チ 絶縁物の厚さについては、別表第四 1 (2) レの規定を準用すること。</p> <p>リ ~ ヲ (略)</p> <p>ワ 器具間を接続する電線 (別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものを除く。) が短絡、過電流等の異常を生じたとき動作する</p>	

<p>作するヒューズ、過電流保護装置その他の保護装置を設けること。ただし、短絡、過電流等の異常が生じた場合において、部品の燃焼、充電部の露出等の危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>カ～ソ（略）</p> <p>ツ アース機構を有するものにあつては、次に適合すること。</p> <p>（イ）～（ハ）（略）</p> <p>（ニ）アース機構の表示は、次に適合すること。</p> <p>a アース線には、そのもの又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは旧解釈別表第四 1（2）ネ（イ）a 及び b による。ただし、アース線に緑と黄の配色を施した電線にあつては、この限りでない。</p> <p>b アース用端子には、そのもの（容易に取り外せる端子ねじを除く。）又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは旧解釈別表第四 1（2）ネ（ロ）a から d による。ただし、器体の内部にある端子であつて、アース線を取り換えることができないものにあつては、この限りでない。</p> <p>（ホ）アース用端子は、次に適合すること。</p> <p>a アース線を容易に、かつ、確実に取り付けることができること。確実に取り付けることができるとは、旧解釈別表第四 1（2）ナ（イ）a 及び b による。</p> <p>b～c（略）</p> <p>ネ（略）</p> <p>ナ 通常の使用状態において人が触れるおそれのある可動部分は、容易</p>	<p>ヒューズ、過電流保護装置その他の保護装置を設けること。ただし、短絡、過電流等の異常が生じた場合において、部品の燃焼、充電部の露出等の危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>カ～ソ（略）</p> <p>ツ アース機構を有するものにあつては、次に適合すること。</p> <p>（イ）～（ハ）（略）</p> <p>（ニ）アース機構の表示は、次に適合すること。</p> <p>a アース線には、そのもの又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは別表第四 1（2）ネ（イ）a 及び b による。ただし、アース線に緑と黄の配色を施した電線にあつては、この限りでない。</p> <p>b アース用端子には、そのもの（容易に取り外せる端子ねじを除く。）又はその近傍に容易に消えない方法でアース用である旨の表示を付してあること。アース用である旨の表示とは別表第四 1（2）ネ（ロ）a から d による。ただし、器体の内部にある端子であつて、アース線を取り換えることができないものにあつては、この限りでない。</p> <p>（ホ）アース用端子は、次に適合すること。</p> <p>a アース線を容易に、かつ、確実に取り付けることができること。確実に取り付けることができるとは、別表第四 1（2）ナ（イ）a 及び b による。</p> <p>b～c（略）</p> <p>ネ（略）</p> <p>ナ 通常の使用状態において人が触れるおそれのある可動部分は、容易</p>
--	--

に触れるおそれがないように適当な保護わく又は保護網を取り付けてあること。ただし、機能上可動部分を露出して使用することがやむをえないものの可動部分及び可動部分に触れたときに感電、傷害等の危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。

回転が目視により容易に判断できるもの又は触れた場合に危険である旨の表示が見やすい箇所にあるものにあつては旧解釈別表第四 1 (2) ハに掲げる試験指を 2N で、その他のものにあつては 10N の力で押し込んだとき、試験指が触れない可動部は、「容易に触れるおそれがないように適当な保護枠又は保護網を取り付けてある」ものとみなす。

ラ〜マ (略)

ケ 外郭にあつては、質量が 250g で、ロックウェル硬度 R100 の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mm の球面を有するおもりを次の表に示す高さから垂直に 1 回 (二重絶縁構造のものであつて透光性又は透視性を必要とするもの以外のものにあつては、3 回) 落としたとき、又はこれと同等の衝撃力をロックウェル硬度 R100 の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mm の球面を有する衝撃片によって 1 回 (二重絶縁構造のものであつて透光性又は透視性を必要とするもの以外のものにあつては、3 回) 加えたとき、感電、火災等の危険を生ずるおそれのあるひび、割れその他の異状が生じないこと。

ただし、器体の外面に露出している表示灯、ヒューズホルダーその他これらに類するもの及びそれらの保護カバーであつて、表面積が 4 cm² 以下であり、かつ、器体の外郭の表面から 10 mm 以上突出していないものにあつては、この限りでない。

に触れるおそれがないように適当な保護わく又は保護網を取り付けてあること。ただし、機能上可動部分を露出して使用することがやむをえないものの可動部分及び可動部分に触れたときに感電、傷害等の危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。

回転が目視により容易に判断できるもの又は触れた場合に危険である旨の表示が見やすい箇所にあるものにあつては別表第四 1 (2) ハに掲げる試験指を 2N で、その他のものにあつては 10N の力で押し込んだとき、試験指が触れない可動部は、「容易に触れるおそれがないように適当な保護枠又は保護網を取り付けてある」ものとみなす。

ラ〜マ (略)

ケ 外郭にあつては、質量が 250g で、ロックウェル硬度 R100 の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mm の球面を有するおもりを次の表に示す高さから垂直に 1 回 (二重絶縁構造のものであつて透光性又は透視性を必要とするもの以外のものにあつては、3 回) 落としたとき、又はこれと同等の衝撃力をロックウェル硬度 R100 の硬さに表面をポリアミド加工した半径が 10 mm の球面を有する衝撃片によって 1 回 (二重絶縁構造のものであつて透光性又は透視性を必要とするもの以外のものにあつては、3 回) 加えたとき、感電、火災等の危険を生ずるおそれのあるひび、割れその他の異状が生じないこと。

ただし、器体の外面に露出している表示灯、ヒューズホルダーその他これらに類するもの及びそれらの保護カバーであつて、表面積が 4 cm² 以下であり、かつ、器体の外郭の表面から 10 mm 以上突出していないものにあつては、この限りでない。

種類	高さ(cm)
天井取り付け用器具及び照明器具	14
その他のもの	20

なお、旧解釈別表第四 1 (2) レ (イ) d に規定された衝撃力も同等の衝撃力とみなす。

フ～ア (略)

サ 接続器を使用しないで接続される電源電線等（器具間を接続する電線及び機能上やむをえず器体の外部に露出する電線であって、線間電圧及び対地電圧が 60V 以下のものを除く。以下サにおいて同じ。）の器体を貫通する部分（以下「貫通部」という。）は、次の図に示す試験装置の可動板の中心と貫通部とを一致させて、電源電線等が可動範囲の中央で折り曲らずに鉛直になるように器体を取り付け、電源電線等の先に 500g（自重が 500g 未満のものにあっては、自重とする。）のおもりをつるして可動板を左右交互におのおの次の表に示す角度及び速さで連続して 2,000 回往復する操作を行ったとき、電源電線等が短絡せず、かつ、素線の断線率が 30%以下であること。ただし、固定して使用するもの、すえ置き形のものその他これらに類するものであって、通常の使用状態において定置して使用するもの（やぐら付き置き用形及び卓用形の電気こたつを除く。）及び電源電線等を収納する巻取機構を有するものの電源電線等にあっては、この限りでない。

品名	角度(°)	往復の速さ(回/分)
電気アイロン		
電気あんか		

種類	高さ(cm)
天井取り付け用器具及び照明器具	14
その他のもの	20

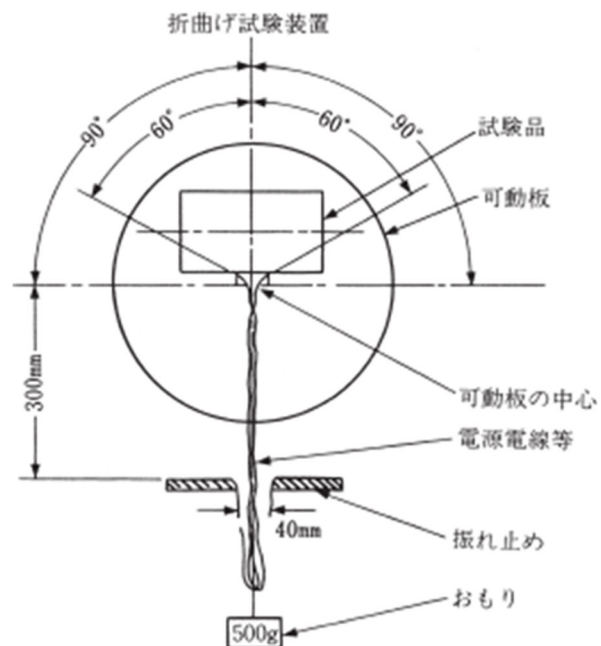
なお、別表第四 1 (2) レ (イ) d に規定された衝撃力も同等の衝撃力とみなす。

フ～ア (略)

サ 接続器を使用しないで接続される電源電線等（器具間を接続する電線及び機能上やむをえず器体の外部に露出する電線であって、線間電圧及び対地電圧が 60V 以下のものを除く。以下サにおいて同じ。）の器体を貫通する部分（以下「貫通部」という。）は、次の図に示す試験装置の可動板の中心と貫通部とを一致させて、電源電線等が可動範囲の中央で折り曲らずに鉛直になるように器体を取り付け、電源電線等の先に 500g（自重が 500g 未満のものにあっては、自重とする。）のおもりをつるして可動板を左右交互におのおの次の表に示す角度及び速さで連続して 2,000 回往復する操作を行ったとき、電源電線等が短絡せず、かつ、素線の断線率が 30%以下であること。ただし、固定して使用するもの、すえ置き形のものその他これらに類するものであって、通常の使用状態において定置して使用するもの（やぐら付き置き用形及び卓用形の電気こたつを除く。）及び電源電線等を収納する巻取機構を有するものの電源電線等にあっては、この限りでない。

品名	角度(°)	往復の速さ(回/分)
電気アイロン		
電気あんか		

電気こたつ	90	40
扇風機	60	10
その他のもの	60	40
(備考)往復の速さにおける回数は左右おのおの 1 回と数える。		

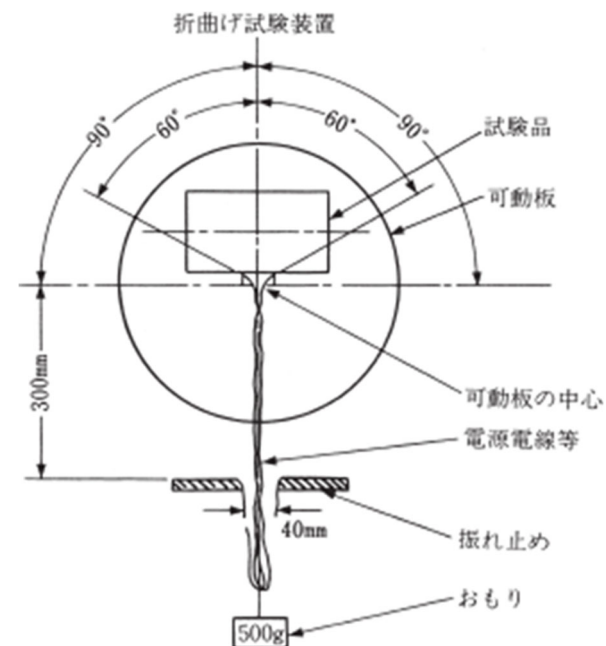


この場合の用語の定義及び試験方法は、旧解釈別表第四 1 (2) ラ (イ) から (へ) による。

キ (略)

ユ 合成樹脂の外郭（透光性又は透視性を必要とするもの及び機能上可撓性、機械的強度等を必要とするものを除く。）を有するものにあつては、その外郭は難燃性を有するものであること。

電気こたつ	90	40
扇風機	60	10
その他のもの	60	40
(備考)往復の速さにおける回数は左右おのおの 1 回と数える。		



この場合の用語の定義及び試験方法は、別表第四 1 (2) ラ (イ) から (へ) による。

キ (略)

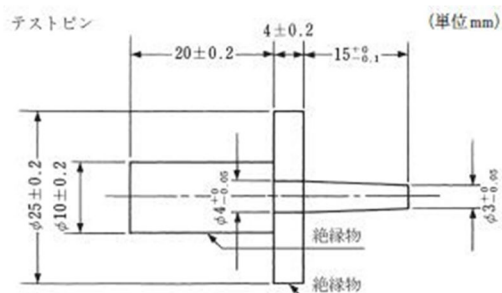
ユ 合成樹脂の外郭（透光性又は透視性を必要とするもの及び機能上可撓性、機械的強度等を必要とするものを除く。）を有するものにあつては、その外郭は難燃性を有するものであること。

<p>「難燃性を有するもの」とは、次のいずれかに適合することをいう。</p> <p>(イ) 外郭の外面の 9 cm 2 以上の正方形の平面部分（外郭に 9 cm 2 以上の正方形の平面部分を有しないものにあつては、原厚のまま一边の長さが 3 cm の正方形に切り取った試験片。）を水平面に対して約 45° に傾斜させた状態において当該平面部分の中央部に、ノズルの内径が 0.5 mm のガスバーナーの空気口を閉じた状態で燃焼させた長さ約 20 mm の炎の先端を垂直下から 5 秒間あて炎を取り去ったとき、燃焼しないもの。</p> <p>なお、この場合の用語の定義は旧解釈別表第四 2 (1) ホ (ハ) a から c による。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>メ～ヒ (略)</p> <p>モ 電熱器具であつて、器体と電源電線とを接続する接続器を有するものにあつては、その接続器は、次に適合すること。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 旧解釈別表第四附表第二 1 の開閉試験に適合すること。この場合において、開閉回数は 10,000 回とし、最初の 5,000 回は電熱器具の定格電流を通じ、後の 5,000 回は器具の始動電流を通じるものとする。</p> <p>セ～イイ (略)</p> <p>(3) 部品および附属品</p> <p>イ 部品または附属品の定格電圧、定格電流および許容電流は、これらに加わる最大電圧またはこれらに流れる最大電流以上であること。</p> <p>この場合の用語の定義は旧解釈別表第四 1 (3) イ (イ) から (ホ) による。</p>	<p>「難燃性を有するもの」とは、次のいずれかに適合することをいう。</p> <p>(イ) 外郭の外面の 9 cm 2 以上の正方形の平面部分（外郭に 9 cm 2 以上の正方形の平面部分を有しないものにあつては、原厚のまま一边の長さが 3 cm の正方形に切り取った試験片。）を水平面に対して約 45° に傾斜させた状態において当該平面部分の中央部に、ノズルの内径が 0.5 mm のガスバーナーの空気口を閉じた状態で燃焼させた長さ約 20 mm の炎の先端を垂直下から 5 秒間あて炎を取り去ったとき、燃焼しないもの。</p> <p>なお、この場合の用語の定義は別表第四 2 (1) ホ (ハ) a から c による。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>メ～ヒ (略)</p> <p>モ 電熱器具であつて、器体と電源電線とを接続する接続器を有するものにあつては、その接続器は、次に適合すること。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 別表第四附表第二 1 の開閉試験に適合すること。この場合において、開閉回数は 10,000 回とし、最初の 5,000 回は電熱器具の定格電流を通じ、後の 5,000 回は器具の始動電流を通じるものとする。</p> <p>セ～イイ (略)</p> <p>(3) 部品および附属品</p> <p>イ 部品または附属品の定格電圧、定格電流および許容電流は、これらに加わる最大電圧またはこれらに流れる最大電流以上であること。</p> <p>この場合の用語の定義は別表第四 1 (3) イ (イ) から (ホ) による。</p>
--	---

<p>ロ 電源電線等は、この表に特別に規定するものを除き、別表第六 1 (3) ロの規定に適合すること。ただし、金糸コードにあつては、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するものであつて、かつ、定格電流が 0.5A 以下の電気かみそり、電気バリカン、電気マッサージ器その他の手持ち形の軽小な器具に使用する長さが2.5m 以下のものとする。</p> <p>ハ～二 (略)</p> <p>ホ 電熱装置から発生する熱によって動作し、かつ、接点を機械的に開閉することにより温度を調節する構造の自動温度調節器（自動復帰形温度過昇防止装置を含む。）にあつては、<u>旧解釈別表第四 1 (1)</u>並びに (2) イ、ヘ、チ、ヌ及びヲ並びに<u>旧解釈別表第四 附表第四 1</u>の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>ヘ 温度により動作する自動スイッチは、<u>旧解釈別表第四 1 (1)</u>並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ及びヲ並びに<u>旧解釈別表第四附表第四 1</u>の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>ト 電動機操作用スイッチ（電気かみそり、電気バリカン又は電気つめみがき機に使用するものを除く。）は、<u>旧解釈別表第四 1 (1)</u>並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ヲ、ワ、カ、ツ及びム並びに<u>旧解釈別表第四附表第四 1</u>の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>温度上昇試験において、接点材料の取り扱いは、<u>旧解釈別表第四附表第三 (1)</u>から (3) による。</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>チ 点滅器（電動機操作用スイッチ及び線間電圧が交流にあつては 30V 以下、直流にあつては 45V 以下であつて、かつ、100mA 以下の回路</p>	<p>ロ 電源電線等は、この表に特別に規定するものを除き、別表第六 1 (3) ロの規定に適合すること。ただし、金糸コードにあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するものであつて、かつ、定格電流が 0.5A 以下の電気かみそり、電気バリカン、電気マッサージ器その他の手持ち形の軽小な器具に使用する長さが2.5m 以下のものとする。</p> <p>ハ～二 (略)</p> <p>ホ 電熱装置から発生する熱によって動作し、かつ、接点を機械的に開閉することにより温度を調節する構造の自動温度調節器（自動復帰形温度過昇防止装置を含む。）にあつては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ヘ、チ、ヌ及びヲ並びに別表第四 附表第四 1 の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>ヘ 温度により動作する自動スイッチは、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ及びヲ並びに別表第四附表第四 1 の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>ト 電動機操作用スイッチ（電気かみそり、電気バリカン又は電気つめみがき機に使用するものを除く。）は、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ヲ、ワ、カ、ツ及びム並びに別表第四附表第四 1 の規定に適合するほか、次に適合すること。</p> <p>温度上昇試験において、接点材料の取扱いは、別表第四附表第三 (1) から (3) による。</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>チ 点滅器（電動機操作用スイッチ及び線間電圧が交流にあつては 30V 以下、直流にあつては 45V 以下であつて、かつ、100mA 以下の回路</p>
--	--

<p>に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、<u>旧解釈別表</u>第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 2 (1) イ及びハ並びに 2 (2) ロ、ヘ、ト、リ及びヌの規定に適合すること。この場合において、<u>旧解釈別表</u>第四附表第二 1 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。</p> <p>開閉試験は<u>旧解釈別表</u>第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。</p> <p>リ 開閉器 (電動機操作用スイッチ及び線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、<u>旧解釈別表</u>第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 3 (1) ロ、ハ、ヘ、ト、ヌ及びヲ並びに 3 (3) イ、チ、リ、ル、ワ、カ及びヨの規定に適合すること。この場合において、<u>旧解釈別表</u>第四附表第二 2 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。</p> <p>ヌ 接続器 (線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、<u>旧解釈別表</u>第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム、ノ及びク並びに 6 (1) イ、ハ、ニ、ホ及びヌ並びに 6 (3) ロ、ハ、ヘ、ト、チ、リ、ヌ及びルの規定に適合すること。</p> <p>ル〜ヲ (略)</p> <p>ワ 電動機 (電動応用機械器具に使用するものを除く。)は、<u>旧解釈別表</u>第七 1 (1)、(2) イ、ロ、ヘ及びト、(5) 並びに (6) の規定に適合すること。</p>	<p>に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 2 (1) イ及びハ並びに 2 (2) ロ、ヘ、ト、リ及びヌの規定に適合すること。この場合において、別表第四附表第二 1 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。</p> <p>開閉試験は別表第四 1 (3) ニ (イ) 及び (ロ) による。</p> <p>リ 開閉器 (電動機操作用スイッチ及び線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム及びク並びに 3 (1) ロ、ハ、ヘ、ト、ヌ及びヲ並びに 3 (3) イ、チ、リ、ル、ワ、カ及びヨの規定に適合すること。この場合において、別表第四附表第二 2 の開閉試験における負荷の力率は、約 1 とすることができる。</p> <p>ヌ 接続器 (線間電圧が交流にあっては 30V 以下、直流にあっては 45V 以下であって、かつ、100mA 以下の回路に使用する感電、火災等の危険が生ずるおそれのないものを除く。)にあっては、別表第四 1 (1) 並びに (2) イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ル、ヲ、ワ、カ、ヨ、タ、レ、ツ、ラ、ム、ノ及びク並びに 6 (1) イ、ハ、ニ、ホ及びヌ並びに 6 (3) ロ、ハ、ヘ、ト、チ、リ、ヌ及びルの規定に適合すること。</p> <p>ル〜ヲ (略)</p> <p>ワ 電動機 (電動応用機械器具に使用するものを除く。)は、別表第七 1 (1)、(2) イ、ロ、ヘ及びト、(5) 並びに (6) の規定に適合すること。</p>
--	--

<p>カ コンデンサーは、<u>旧解釈別表</u>第四 1（3）チの規定に適合すること。 ヨ～レ （略）</p> <p>（4）～（6） （略）</p> <p>（7）二重絶縁構造 二重絶縁構造のものにあつては、次に適合すること。</p> <p>イ 充電部と器体の表面との間には、（イ）に適合する基礎絶縁及び（ロ）に適合する付加絶縁を施してあること。ただし、構造上やむを得ない部分であつて、充電部と器体の表面との間に（ハ）に適合する強化絶縁が施されている場合は、この限りでない。この場合において、基礎絶縁又は付加絶縁は、絶縁物により絶縁されていること。</p> <p>（イ）基礎絶縁は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a 絶縁物の厚さは、<u>旧解釈別表</u>第四 1（2）レ（ロ）及び（ハ）に適合すること。</p> <p>b （略）</p> <p>（ロ）～（ハ） （略）</p> <p>ロ（略）</p> <p>ハ 次に掲げるものを除き、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で、<u>旧解釈別表</u>第四 1（2）ハの図に示す試験指にあつては充電部及び基礎絶縁物に、次の図に示すテストピンにあつては充電部に触れないこと。</p>	<p>カ コンデンサーは、別表第四 1（3）チの規定に適合すること。 ヨ～レ （略）</p> <p>（4）～（6） （略）</p> <p>（7）二重絶縁構造 二重絶縁構造のものにあつては、次に適合すること。</p> <p>イ 充電部と器体の表面との間には、（イ）に適合する基礎絶縁及び（ロ）に適合する付加絶縁を施してあること。ただし、構造上やむを得ない部分であつて、充電部と器体の表面との間に（ハ）に適合する強化絶縁が施されている場合は、この限りでない。この場合において、基礎絶縁又は付加絶縁は、絶縁物により絶縁されていること。</p> <p>（イ）基礎絶縁は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a 絶縁物の厚さは、別表第四 1（2）レ（ロ）及び（ハ）に適合すること。</p> <p>b （略）</p> <p>（ロ）～（ハ） （略）</p> <p>ロ（略）</p> <p>ハ 次に掲げるものを除き、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で、別表第四 1（2）ハの図に示す試験指にあつては充電部及び基礎絶縁物に、次の図に示すテストピンにあつては充電部に触れないこと。</p>
---	---



(イ) ～ (ハ) (略)

ニ～ヌ (略)

ル 電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、電気かみそり、電気バリカン、電気マッサージ器その他の手持ち形の軽小な器具に使用する電源電線であって、次に適合するものにあつては、この限りでない。

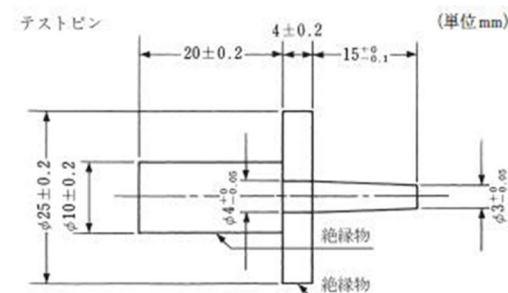
(イ) 定格電流が 1A 以下のものに使用する電源電線であつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上の旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード（より合わせコードを除く。）

(ロ) 定格電流が 0.5A 以下のものに使用する電源電線（長さが 2.5m 以下のものに限る。）であつて、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する金糸コード

ヲ (略)

(8) ～ (10) (略)

(11) 太陽電池モジュール



(イ) ～ (ハ) (略)

ニ～ヌ (略)

ル 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、電気かみそり、電気バリカン、電気マッサージ器その他の手持ち形の軽小な器具に使用する電源電線であつて、次に適合するものにあつては、この限りでない。

(イ) 定格電流が 1A 以下のものに使用する電源電線であつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上の別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード（より合わせコードを除く。）

(ロ) 定格電流が 0.5A 以下のものに使用する電源電線（長さが 2.5m 以下のものに限る。）であつて、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する金糸コード

ヲ (略)

(8) ～ (10) (略)

(11) 太陽電池モジュール

<p>太陽電池モジュールを有するものにあつては、次に適合すること。</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 太陽電池モジュールに接続される電線は、短絡電流に耐えるものであること。「短絡電流に耐えるもの」とは、<u>旧解釈別表第四 1 (3)</u>イ (ハ) に適合することをいう。</p> <p>(ト) (略)</p> <p>ハ～ニ (略)</p> <p>(12) (略)</p> <p>2 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具</p> <p>(1) 電気ストーブ、サウナバス用電熱器、スチームバス用電熱器、電気火ばち及び観賞植物用ヒーター</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外用の電気ストーブ、サウナバス用電熱器及び観賞植物用ヒーターの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm² 以上のものであること。</p> <p>(ハ) 電気ストーブにあつては、次に適合すること。</p> <p>a ～ b (略)</p>	<p>太陽電池モジュールを有するものにあつては、次に適合すること。</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 太陽電池モジュールに接続される電線は、短絡電流に耐えるものであること。「短絡電流に耐えるもの」とは、別表第四 1 (3) イ (ハ) に適合することをいう。</p> <p>(ト) (略)</p> <p>ハ～ニ (略)</p> <p>(12) (略)</p> <p>2 電気用品安全法施行令（昭和三十七年政令第三百二十四号）別表第一第六号から第九号まで及び別表第二第七号から第十一号までに掲げる交流用電気機械器具</p> <p>(1) 電気ストーブ、サウナバス用電熱器、スチームバス用電熱器、電気火ばち及び観賞植物用ヒーター</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外用の電気ストーブ、サウナバス用電熱器及び観賞植物用ヒーターの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm² 以上のものであること。</p> <p>(ハ) 電気ストーブにあつては、次に適合すること。</p> <p>a ～ b (略)</p>
--	---

<p>c bに掲げるもの以外のものにあつては、発熱体には旧解釈別表第四 1 (2) ハの図に示す試験指が接触しない構造であること。ただし、危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>d ~ h (略)</p> <p>(2) ~ (8) (略)</p> <p>(9) 電気がま、電気湯沸器、電気コーヒー沸器、電気牛乳沸器、電気蒸し器、電気卵ゆで器、電気酒かん器、電気なべ、電気湯せん器、電気ジャー及びひげそり用湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ~ (ハ) (略)</p> <p><u>(二) 電気湯沸器にあつては、JIS C 9335-2-15 (2021) の22.104を適用する。</u></p> <p>ロ ~ ホ (略)</p> <p>(10) ~ (11) (略)</p> <p>(12) 電気茶沸器および電気温水器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ~ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、</p>	<p>c bに掲げるもの以外のものにあつては、発熱体には別表第四 1 (2) ハの図に示す試験指が接触しない構造であること。ただし、危険が生ずるおそれのないものにあつては、この限りでない。</p> <p>d ~ h (略)</p> <p>(2) ~ (8) (略)</p> <p>(9) 電気がま、電気湯沸器、電気コーヒー沸器、電気牛乳沸器、電気蒸し器、電気卵ゆで器、電気酒かん器、電気なべ、電気湯せん器、電気ジャー及びひげそり用湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ~ (ハ) (略)</p> <p><u>(新設)</u></p> <p>ロ ~ ホ (略)</p> <p>(10) ~ (11) (略)</p> <p>(12) 電気茶沸器および電気温水器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ~ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断</p>
--	--

<p>その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) ～ (リ) (略)</p> <p>(13) ～ (19) (略)</p> <p>(20) 採暖用、調理用又は理容用の電熱器具（(1) から (19) までに掲げるものを除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外、厨房、浴室等の水がかかるおそれのある場所において使用する器具の電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(21) ～ (23) (略)</p> <p>(24) 湿潤器、電気スチームバス及び電気湯のし器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 電気スチームバスの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p>	<p>面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) ～ (リ) (略)</p> <p>(13) ～ (19) (略)</p> <p>(20) 採暖用、調理用又は理容用の電熱器具（(1) から (19) までに掲げるものを除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外、厨房、浴室等の水がかかるおそれのある場所において使用する器具の電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(21) ～ (23) (略)</p> <p>(24) 湿潤器、電気スチームバス及び電気湯のし器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 電気スチームバスの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p>
---	--

<p>(25) (略)</p> <p>(26)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ニ) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(27) ～ (28) (略)</p> <p>(28の2) 電気焼成炉、こて加熱器、電気溶解器その他の工作用又は工芸用の電熱器具（(28)に掲げるものを除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(29) (略)</p> <p>(30) 投込み湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p>	<p>(25) (略)</p> <p>(26)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ニ) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(27) ～ (28) (略)</p> <p>(28の2) 電気焼成炉、こて加熱器、電気溶解器その他の工作用又は工芸用の電熱器具（(28)に掲げるものを除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(29) (略)</p> <p>(30) 投込み湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p>
--	--

<p>(二) 定格消費電力が 600W を超えるものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 1) 電気瞬間湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 2) 水道凍結防止器、ガラス曇り防止器その他の凍結又は凝結防止用電熱器具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 3) 電熱ボード、電熱シートおよび電熱マット</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p>	<p>(二) 定格消費電力が 600W を超えるものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 1) 電気瞬間湯沸器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 2) 水道凍結防止器、ガラス曇り防止器その他の凍結又は凝結防止用電熱器具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(3 3) 電熱ボード、電熱シートおよび電熱マット</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p>
---	---

<p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、定格電圧が 150V 以下で定格消費電力が 100W 以下の乾燥した場所で使用する旨の表示を有するものにあつては、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコードであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものとすることができる。</p> <p>(二) ～ (リ) (略)</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(34)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(35) 電気ふ卵器および電気育すう器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p>	<p>(ハ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、定格電圧が 150V 以下で定格消費電力が 100W 以下の乾燥した場所で使用する旨の表示を有するものにあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコードであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものとすることができる。</p> <p>(二) ～ (リ) (略)</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(34)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(35) 電気ふ卵器および電気育すう器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p>
---	---

<p>(36) 電気乾燥器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(37) 電気プレス器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線にあつては、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(38) ～ (40の3) (略)</p> <p>(40の4) 電熱式おもちゃ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 屋外用のもの(充電式のものであつて、充電中以外は電源電線を器体に収納するものを除く。)及び据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタ</p>	<p>(36) 電気乾燥器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(37) 電気プレス器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線にあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(38) ～ (40の3) (略)</p> <p>(40の4) 電熱式おもちゃ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 屋外用のもの(充電式のものであつて、充電中以外は電源電線を器体に収納するものを除く。)及び据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコ</p>
--	---

<p>イヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm²以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(4 1) 扇風機、換気扇、サーキュレーターおよび送風機 イ 構造 (イ)～(二) (略) (ホ) 屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。 (へ)～(ト) (略) ロ～ホ (略)</p> <p>(4 2) 電気冷房機及び電気除湿機 イ 構造 (イ)～(ホ) (略) (へ) 屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。 (ト)～(チ) (略) ロ～ホ (略)</p> <p>(4 3)～(4 4の2) (略)</p> <p>(4 4の3) 電気加湿器 イ 構造</p>	<p>ード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm²以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(4 1) 扇風機、換気扇、サーキュレーターおよび送風機 イ 構造 (イ)～(二) (略) (ホ) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。 (へ)～(ト) (略) ロ～ホ (略)</p> <p>(4 2) 電気冷房機及び電気除湿機 イ 構造 (イ)～(ホ) (略) (へ) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。 (ト)～(チ) (略) ロ～ホ (略)</p> <p>(4 3)～(4 4の2) (略)</p> <p>(4 4の3) 電気加湿器 イ 構造</p>
--	---

<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>(ハ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 4 の 4) (略)</p> <p>(4 5) 空気清浄機及び電気除臭機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 卓上形及び壁掛け形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 5 の 2) 電気芳香拡散機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2以上のものであること。</p>	<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>(ハ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 4 の 4) (略)</p> <p>(4 5) 空気清浄機及び電気除臭機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 卓上形及び壁掛け形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 5 の 2) 電気芳香拡散機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2以上のものであること。</p>
---	---

<p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 6) 電気掃除機、電気黒板ふきクリーナー、電気レコードクリーナー その他の電気吸じん機及び電気床みがき機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 電気掃除機であって定格消費電力が 500W を超えるもの、電気床 みがき機又は屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は 別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャ ブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のもので あること。</p> <p>(ロ) ～ (二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(4 7) (略)</p> <p>(4 8) 電気洗たく機および電気脱水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (チ) (略)</p> <p>(リ) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表 第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイ ヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであるこ と。</p> <p>(ヌ) ～ (カ) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(4 8 の 2) 運動用具又は娯楽用具の洗浄機</p>	<p>ロ～二 (略)</p> <p>(4 6) 電気掃除機、電気黒板ふきクリーナー、電気レコードクリーナー その他の電気吸じん機及び電気床みがき機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 電気掃除機であって定格消費電力が 500W を超えるもの、電気床 みがき機又は屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表 第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイ ヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであるこ と。</p> <p>(ロ) ～ (二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(4 7) (略)</p> <p>(4 8) 電気洗たく機および電気脱水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (チ) (略)</p> <p>(リ) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二 の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケー ブルであって、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。</p> <p>(ヌ) ～ (カ) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(4 8 の 2) 運動用具又は娯楽用具の洗浄機</p>
--	---

<p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(49) 電気ポンプ、電気井戸ポンプ及び電気噴水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(50) 電気冷蔵庫、電気冷凍庫、冷蔵用のショーケースおよび冷凍用のショーケース</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 冷蔵用のショーケース及び冷凍用のショーケースにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、<u>旧解釈</u>別表第四の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が 15mA 以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p>	<p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(49) 電気ポンプ、電気井戸ポンプ及び電気噴水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(50) 電気冷蔵庫、電気冷凍庫、冷蔵用のショーケースおよび冷凍用のショーケース</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 冷蔵用のショーケース及び冷凍用のショーケースにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、別表第四の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が 15mA 以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p>
--	--

<p>(へ) 冷蔵用のショーケース及び冷凍用のショーケースのものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ト) ～ (ヲ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(50の2) (略)</p> <p>(51) 電気冷水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(へ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(51の2) (略)</p> <p>(52) 電気製氷機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p>	<p>(へ) 冷蔵用のショーケース及び冷凍用のショーケースのものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ト) ～ (ヲ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(50の2) (略)</p> <p>(51) 電気冷水機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(へ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(51の2) (略)</p> <p>(52) 電気製氷機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p>
---	---

<p>ロ～ハ (略)</p> <p>(53) 空気圧縮機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(54) アイスクリームフリーザー（冷却装置を有するものに限る。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ハ～ヘ (略)</p> <p>(55) アイスクリームフリーザー（冷却装置を有するもの以外のものに限る。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 水及び氷を使用するもの（卓上形のものを除く。）の電源電線は、</p>	<p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(53) 空気圧縮機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(54) アイスクリームフリーザー（冷却装置を有するものに限る。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>ハ～ヘ (略)</p> <p>(55) アイスクリームフリーザー（冷却装置を有するもの以外のものに限る。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 水及び氷を使用するもの（卓上形のものを除く。）の電源電線は、</p>
---	---

<p>旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～ヘ (略)</p> <p>(56) ジューサー、ジュースミキサー、フードミキサーおよびコーヒーひき機</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 卓上形、手持ち形及び壁掛け形以外のものの電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～チ (略)</p> <p>(56の2) 電気製めん機及び電気もちつき機</p> <p>イ 構造</p> <p>卓上形以外のものの電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(57) 電気かん切機、電気肉ひき機、電気肉切り機及び電気パン切り機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p>	<p>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～ヘ (略)</p> <p>(56) ジューサー、ジュースミキサー、フードミキサーおよびコーヒーひき機</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 卓上形、手持ち形及び壁掛け形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～チ (略)</p> <p>(56の2) 電気製めん機及び電気もちつき機</p> <p>イ 構造</p> <p>卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(57) 電気かん切機、電気肉ひき機、電気肉切り機及び電気パン切り機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p>
---	--

<p>(ロ) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(58) ～ (59) (略)</p> <p>(60) 電気食器洗い機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ト) (略)</p> <p>(チ) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(リ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(61) 電気洗米機及び野菜洗浄機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p>	<p>(ロ) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(58) ～ (59) (略)</p> <p>(60) 電気食器洗い機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ト) (略)</p> <p>(チ) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(リ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(61) 電気洗米機及び野菜洗浄機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p>
--	--

<p>(6 1 の 2) 精米機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 2) 電気氷削機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 3) ディスポーザー</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p>	<p>(6 1 の 2) 精米機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 2) 電気氷削機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 3) ディスポーザー</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p>
--	--

(64) 電気グラインダー、電気サンダー、電気ポリッシャー、電気ドリル、電気かんな、電気のこぎり、電気金切り盤、電気ハンドシャー、電気みぞ切り機、電気角のみ機、電気チューブクリーナー、電気スクーリングマシン、電気タッパー、電気ナットランナー、電気スクリードライバー、電気刃物研ぎ機その他の電動工具

イ 構造

(イ) 卓上形の電気刃物研ぎ機以外のものの電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、据置き形で定格消費電力が 100W 未満のものの電源電線に旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード(単心コード及びより合わせコードを除く。)であって、断面積が 0.75 mm^2 以上のものを使用する場合は、この限りでない。

(ロ) ～ (二) (略)

ロ～ホ (略)

(65) 電気かみそり、電気バリカン及び電気つめみがき機

イ～ロ (略)

ハ 附属の操作スイッチの性能

附属の操作スイッチは、旧解釈別表第四 1 (1)並びに(2)イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ヲ、ワ、カ、ツ及びムの規定に適合するほか、定格周波数に等しい周波数の定格電圧に等しい電圧を試験品に加え、スイッチを開閉する操作を毎分 10 回の割合で5,000 回行ったとき、スイッチに故障が生じないこと。この場合において、電気かみそり及び

(64) 電気グラインダー、電気サンダー、電気ポリッシャー、電気ドリル、電気かんな、電気のこぎり、電気金切り盤、電気ハンドシャー、電気みぞ切り機、電気角のみ機、電気チューブクリーナー、電気スクーリングマシン、電気タッパー、電気ナットランナー、電気スクリードライバー、電気刃物研ぎ機その他の電動工具

イ 構造

(イ) 卓上形の電気刃物研ぎ機以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。ただし、据置き形で定格消費電力が 100W 未満のものの電源電線に別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するコード(単心コード及びより合わせコードを除く。)であって、断面積が 0.75 mm^2 以上のものを使用する場合は、この限りでない。

(ロ) ～ (二) (略)

ロ～ホ (略)

(65) 電気かみそり、電気バリカン及び電気つめみがき機

イ～ロ (略)

ハ 附属の操作スイッチの性能

附属の操作スイッチは、別表第四 1 (1)並びに(2)イ、ホ、ヘ、チ、ヌ、ヲ、ワ、カ、ツ及びムの規定に適合するほか、定格周波数に等しい周波数の定格電圧に等しい電圧を試験品に加え、スイッチを開閉する操作を毎分 10 回の割合で5,000 回行ったとき、スイッチに故障が生じないこと。この場合において、電気かみそり及び電気

<p>電気つめみがき機にあつては 5 分間開閉操作を行った後 1 分間、電気バリカンにあつては 10 分間開閉操作を行った後 5 分間開閉操作を停止するものとする。</p> <p>二 (略)</p> <p>(6 6) ～ (6 6 の 2) (略)</p> <p>(6 6 の 3) 理髪いす</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ (略)</p> <p>(6 7) ～ (6 9) (略)</p> <p>(6 9 の 2) 電気ブラシ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 9 の 3) 自動洗淨乾燥式便器</p>	<p>つめみがき機にあつては 5 分間開閉操作を行った後 1 分間、電気バリカンにあつては 10 分間開閉操作を行った後 5 分間開閉操作を停止するものとする。</p> <p>二 (略)</p> <p>(6 6) ～ (7 0) (略)</p> <p>(6 6 の 3) 理髪いす</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ (略)</p> <p>(6 7) ～ (6 9) (略)</p> <p>(6 9 の 2) 電気ブラシ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(6 9 の 3) 自動洗淨乾燥式便器</p>
---	---

<p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二) ～ (ヘ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(70) 謄写機および複写機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(70の2) ラミネーター</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p>	<p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二) ～ (ヘ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(70) 謄写機および複写機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(70の2) ラミネーター</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p>
---	---

<p>(70の3) (略)</p> <p>(71) 自動販売機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋内用のもの以外のものにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、<u>旧解釈別表第四</u>の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が15mA以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ニ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～リ (略)</p> <p>(71の2) 両替機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋内用のもの以外のものにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、<u>旧解釈別表第四</u>の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が15mA以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p>	<p>(70の3) (略)</p> <p>(71) 自動販売機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋内用のもの以外のものにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、別表第四の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が15mA以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ハ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ニ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>ロ～リ (略)</p> <p>(71の2) 両替機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋内用のもの以外のものにあつては、器体の外部に金属が露出していないもの又は二重絶縁構造のものであること。ただし、別表第四の規定に適合する高速形の漏電遮断器（定格感度電流が15mA以下のものに限る。）を有する構造のもの又は取り付けられる構造のものであって、アース機構を設けてあるものにあつては、この限りでない。</p>
--	--

<p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(7 2) 包装機械</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(7 2 の 2) おしぼり巻き機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(7 2 の 3) 電動脱穀機、電動もみすり機、電動わら打ち機、電動縄ない機、選卵器、洗卵器及び荷造り機械</p> <p>イ 構造</p>	<p>(ハ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(7 2) 包装機械</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(7 2 の 2) おしぼり巻き機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(7 2 の 3) 電動脱穀機、電動もみすり機、電動わら打ち機、電動縄ない機、選卵器、洗卵器及び荷造り機械</p> <p>イ 構造</p>
---	---

<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(73) 電気噴霧機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(74) ほうじ茶機</p> <p>イ 構造</p> <p>電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(74の2) ～ (75) (略)</p> <p>(76) 電気乾燥機 ((75)に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p>	<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(73) 電気噴霧機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(74) ほうじ茶機</p> <p>イ 構造</p> <p>電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(74の2) ～ (75) (略)</p> <p>(76) 電気乾燥機 ((75)に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p>
---	---

<p>(二) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(77) (略)</p> <p>(78) 電気気ほう発生器（観賞魚用電気気ほう発生器を除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 浴そう用であって卓上形のものと及び卓上形以外のものの電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(78の2) 浴槽用電気温水循環浄化器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ヘ) (略)</p> <p>(ト) 器体には<u>旧解釈</u>別表第四の規定に適合する高速型の漏電遮断器（定格感度電流が 15mA以下のものに限る。）を有すること。ただし、漏電遮断器は浴室内に設置してはならない。</p> <p>(チ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、</p>	<p>(二) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(77) (略)</p> <p>(78) 電気気ほう発生器（観賞魚用電気気ほう発生器を除く。）</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 浴そう用であって卓上形のものと及び卓上形以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(78の2) 浴槽用電気温水循環浄化器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ヘ) (略)</p> <p>(ト) 器体には別表第四の規定に適合する高速型の漏電遮断器（定格感度電流が 15mA以下のものに限る。）を有すること。ただし、漏電遮断器は浴室内に設置してはならない。</p> <p>(チ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断</p>
---	--

<p>その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(79) 電気捕虫機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(80) 電気芝刈り機、電気草刈り機、電気刈込み機及び園芸用電気耕土機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(80の2) ベルトコンベア</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、</p>	<p>面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(79) 電気捕虫機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(80) 電気芝刈り機、電気草刈り機、電気刈込み機及び園芸用電気耕土機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(80の2) ベルトコンベア</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断</p>
---	---

<p>その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ (略)</p> <p>(81) ～ (83) (略)</p> <p>(84) 電動式おもちゃその他の電動力応用遊戯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外用のもの（充電式のものであって、充電中以外は電源電線を器体に収納するものを除く。）及び据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(85) ベル、ブザーおよびチャイム</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>(85の2) 電動式おもちゃその他の電動力応用遊戯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外用のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二</p>	<p>面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ (略)</p> <p>(81) ～ (83) (略)</p> <p>(84) 電動式おもちゃその他の電動力応用遊戯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外用のもの（充電式のものであって、充電中以外は電源電線を器体に収納するものを除く。）及び据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(85) ベル、ブザーおよびチャイム</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>(85の2) 電動式おもちゃその他の電動力応用遊戯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定</p>
---	---

<p>の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(85の3) 電動かくはん機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形のもの以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ)～(ヘ) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(85の4) (略)</p> <p>(85の5) 電気楽器及び電子楽器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源を開閉するスイッチは、<u>旧解釈別表第四2(2)～(ロ)</u>の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$倍以下であって、<u>旧解釈別表第四2(2)～(ハ)</u>の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>ロ～ハ (略)</p>	<p>に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(85の3) 電動かくはん機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形のもの以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ)～(ヘ) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(85の4) (略)</p> <p>(85の5) 電気楽器及び電子楽器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源を開閉するスイッチは、別表第四2(2)～(ロ)の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$倍以下であって、別表第四2(2)～(ハ)の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>ロ～ハ (略)</p>
---	--

<p>(85の6)～(86の3) (略)</p> <p>(86の4) ハンドランプ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル（1種キャブタイヤケーブルを除く。）若しくはビニルキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二)～(チ) (略)</p> <p>ロ～チ (略)</p> <p>(86の5)～(86の6の2) (略)</p> <p>(86の7) 白熱電灯器具及び放電灯器具（(86)、(86の2)及び(86の4)に掲げるものを除く。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～ホ (略)</p> <p>(86の7の2) エル・イー・ディー・電灯器具 ((86)及び(86の4))</p>	<p>(85の6)～(86の3) (略)</p> <p>(86の4) ハンドランプ</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル（1種キャブタイヤケーブルを除く。）若しくはビニルキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二)～(チ) (略)</p> <p>ロ～チ (略)</p> <p>(86の5)～(86の6) (略)</p> <p>(86の7) 白熱電灯器具及び放電灯器具（(86)、(86の2)及び(86の4)に掲げるものを除く。）</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ)～(ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ハ～ホ (略)</p> <p>(86の7の2) エル・イー・ディー・電灯器具 ((86)及び(86の4))</p>
---	---

<p>に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ト) ～ (ル) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(86の8) 広告灯</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものであつて、人が踏むおそれのある場所で使用するものにあつては、電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(87) 庭園灯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル（1種キャブタイヤケーブルを除く。）若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積</p>	<p>に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ホ) (略)</p> <p>(ヘ) 屋外用のものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ト) ～ (ル) (略)</p> <p>ロ～ヘ (略)</p> <p>(86の8) 広告灯</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のものであつて、人が踏むおそれのある場所で使用するものにあつては、電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(87) 庭園灯器具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (二) (略)</p> <p>(ホ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル（1種キャブタイヤケーブルを除く。）若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75</p>
--	---

が 0.75 mm²以上のものであること。

(へ) (略)

ロ～ト (略)

(88) 装飾用電灯器具

イ 構造

(イ) 電源電線及び光源相互間を接続する電線(器体の内部の配線に使用する電線を除く。以下イ及びロにおいて同じ。)は、次に適合すること。

a 屋内用のものにあつては、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、その断面積は次の表に掲げる値以上であること。この場合において、変圧器を有するものの1次側の電源電線にあつては、その断面積は 0.75 mm² 以上とし、差込みプラグ(定格遮断電流が 500A 以上であつて定格電流が 3A 以下のヒューズを有するものに限る。)に附属する電線であつて、その長さが 2m 以下のものにあつては、その断面積は 0.5 mm²以上とすることができる。

装飾用電灯器具の種類	断面積 (mm ²)
口金のない電球を有するもの、E5 のソケットのもの又はさし込み口金のものであつてガラス球の外径が 7 mm以下、長さが 50 mm以下のもの	0.5
E10、E12、E14 及びE17 のソケットのもの	0.75

b 屋外用のものにあつては、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤ

mm²以上のものであること。

(へ) (略)

ロ～ト (略)

(88) 装飾用電灯器具

イ 構造

(イ) 電源電線及び光源相互間を接続する電線(器体の内部の配線に使用する電線を除く。以下イ及びロにおいて同じ。)は、次に適合すること。

a 屋内用のものにあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、その断面積は次の表に掲げる値以上であること。この場合において、変圧器を有するものの1次側の電源電線にあつては、その断面積は 0.75 mm² 以上とし、差込みプラグ(定格遮断電流が 500A 以上であつて定格電流が 3A 以下のヒューズを有するものに限る。)に附属する電線であつて、その長さが 2m 以下のものにあつては、その断面積は 0.5 mm² 以上とすることができる。

装飾用電灯器具の種類	断面積 (mm ²)
口金のない電球を有するもの、E5 のソケットのもの又はさし込み口金のものであつてガラス球の外径が 7 mm以下、長さが 50 mm以下のもの	0.5
E10、E12、E14 及びE17 のソケットのもの	0.75

b 屋外用のものにあつては、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブ

<p>ケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源に直接に接続するさし込みプラグ及び次に適合する送り用接続器 1 個以外の接続器を有しないこと。</p> <p>a <u>旧解釈別表第四 6 (1) ニ (ホ) a</u> に規定する接続器がかん合しないものであること。</p> <p>b～e (略)</p> <p>(二) ～ (ヘ) (略)</p> <p>ロ～チ (略)</p> <p>(89) ～ (93) (略)</p> <p>(94) テレビジョン受信機</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源を開閉するスイッチは、<u>旧解釈別表第四 2 (2) ヘ (ロ)</u> の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の $\sqrt{2}$ 倍以下であって、<u>旧解釈別表第四 2 (2) ヘ (ハ)</u> の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>ハ～ヌ (略)</p> <p>(94 の 2) テレビジョン受信機用ブースター</p> <p>イ 構造</p>	<p>ルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源に直接に接続するさし込みプラグ及び次に適合する送り用接続器 1 個以外の接続器を有しないこと。</p> <p>a 別表第四 6 (1) ニ (ホ) a に規定する接続器がかん合しないものであること。</p> <p>b～e (略)</p> <p>(二) ～ (ヘ) (略)</p> <p>ロ～チ (略)</p> <p>(89) ～ (93) (略)</p> <p>(94) テレビジョン受信機</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 電源を開閉するスイッチは、別表第四 2 (2) ヘ (ロ) の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の $\sqrt{2}$ 倍以下であって、別表第四 2 (2) ヘ (ハ) の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>ハ～ヌ (略)</p> <p>(94 の 2) テレビジョン受信機用ブースター</p> <p>イ 構造</p>
---	--

<p>(イ) 電源を開閉するスイッチは、<u>旧解釈別表</u>第四 2 (2) へ (ロ) の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$ 倍以下であって、<u>旧解釈別表</u>第四 2 (2) へ (ハ) の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ロ) 屋外で使用するものの電源電線は、<u>旧解釈別表</u>第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ホ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(9 4 の 3) 超音波加湿機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形及び壁掛け形のものの以外のものの電源電線は、<u>旧解釈別表</u>第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(9 4 の 4) ラジオ受信機、テープレコーダー、レコードプレーヤー、ジュークボックス、増幅器、ビデオテープレコーダーその他の音響機器 ((9 4) に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p>	<p>(イ) 電源を開閉するスイッチは、別表第四 2 (2) へ (ロ) の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$ 倍以下であつて、別表第四 2 (2) へ (ハ) の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ロ) 屋外で使用するものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ハ) ～ (ホ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(9 4 の 3) 超音波加湿機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 卓上形及び壁掛け形のものの以外のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(9 4 の 4) ラジオ受信機、テープレコーダー、レコードプレーヤー、ジュークボックス、増幅器、ビデオテープレコーダーその他の音響機器 ((9 4) に掲げるものを除く。)</p> <p>イ 構造</p>
---	---

<p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源を開閉するスイッチは、<u>旧解釈別表</u>第四 2 (2) へ (ロ) の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$ 倍以下であって、<u>旧解釈別表</u>第四 2 (2) へ (ハ) の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ニ) (略)</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>(9 4 の 5) ～ (9 5) (略)</p> <p>(9 6) 高周波ウエルダー</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 電源電線は、<u>旧解釈別表</u>第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(9 6 の 2) (略)</p> <p>(9 6 の 3) 超音波洗浄機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表</u>第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニル</p>	<p>(イ) ～ (ロ) (略)</p> <p>(ハ) 電源を開閉するスイッチは、別表第四 2 (2) へ (ロ) の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$ 倍以下であつて、別表第四 2 (2) へ (ハ) の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ニ) (略)</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>(9 5) (略)</p> <p>(9 6) 高周波ウエルダー</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ヘ) (略)</p> <p>(ト) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(9 6 の 2) (略)</p> <p>(9 6 の 3) 超音波洗浄機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブ</p>
---	--

<p>キャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(96の4) 超音波ねずみ駆除機</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外で使用するものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(96の5) 電子応用遊戯器具</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) 電源を開閉するスイッチは、<u>旧解釈別表第四2(2)～(ロ)</u>の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$倍以下であって、<u>旧解釈別表第四2(2)～(ハ)</u>の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のもの及び据置き形のものの電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ニ)～(ト) (略)</p>	<p>タイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(96の4) 超音波ねずみ駆除機</p> <p>イ 構造</p> <p>屋外で使用するものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(96の5) 電子応用遊戯器具</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 構造</p> <p>(イ) 電源を開閉するスイッチは、別表第四2(2)～(ロ)の規定に適合するものであること。ただし、電源回路に流れる電流が 0.15A 以下又は電源回路に流れる突入電流がスイッチの定格電流の$\sqrt{2}$倍以下であって、別表第四2(2)～(ハ)の規定に適合するものにあつては、この限りでない。</p> <p>(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 屋外用のもの及び据置き形のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。</p> <p>(ニ)～(ト) (略)</p>
--	---

<p>ハ～二 (略)</p> <p>(97) ～ (98)</p> <p>(99) 電撃殺虫器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ニ) (略)</p> <p>(ホ) 次のいずれかに適合する保護装置を設けること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で旧解釈別表第四1(2)ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>a ～ c (略)</p> <p>(ヘ) 器体には、2次側開放電圧が 7,000V 以下の絶縁変圧器を使用し、かつ、(ホ) a 又は b の危険防止装置を設けたものにあつては、床面上又は地表面上 1.8m以上の位置に、その他のものにあつては、床面上又は地表面上 3.5m 以上の位置に設置する旨を表示してあること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で旧解釈別表第四1(2)ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>(ト) 屋外用のものの電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。</p> <p>(チ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p>	<p>ハ～二 (略)</p> <p>(97) ～ (98)</p> <p>(99) 電撃殺虫器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) ～ (ニ) (略)</p> <p>(ホ) 次のいずれかに適合する保護装置を設けること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で別表第四1(2)ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>a ～ c (略)</p> <p>(ヘ) 器体には、2次側開放電圧が 7,000V 以下の絶縁変圧器を使用し、かつ、(ホ) a 又は b の危険防止装置を設けたものにあつては、床面上又は地表面上 1.8m以上の位置に、その他のものにあつては、床面上又は地表面上 3.5m 以上の位置に設置する旨を表示してあること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で別表第四1(2)ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>(ト) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が0.75 mm²以上のものであること。</p> <p>(チ) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p>
---	--

<p>(100) アーク溶接機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 溶接用電源装置から溶接電極に至る電線は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a <u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤケーブル(1種キャブタイヤケーブル及びビニルキャブタイヤケーブルを除く。)であること。</p> <p>b <u>旧解釈</u>別表第一に規定する電線に係る共通の規定に適合し、かつ、材料及び構造等が以下の(a)から(e)までに掲げる基準に適合するものであること、又は別表第十二の規定に適合するものであること。</p> <p>(a) 材料及び構造</p> <p>i 導体は、附表第七に適合する軟銅集合より線であって断面積が 14 mm^2 以上のもの又は<u>旧解釈</u>別表第一附表第八の三に適合する軟アルミ集合より線であること。</p> <p>ii～iii (略)</p> <p>(b) (略)</p> <p>(c) 耐食性</p> <p>めっきを施した銅線又は鋼線にあつては、<u>旧解釈</u>別表第一附表第十二の試験を行なったとき、これに適合すること。</p> <p>(d) 絶縁体又は外装に使用する絶縁物の性質</p> <p>i (略)</p> <p>ii 耐油性</p> <p>絶縁体又は外装にクロロプレンゴム混合物又はクロロスル</p>	<p>(100) アーク溶接機</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 溶接用電源装置から溶接電極に至る電線は、次のいずれかに適合すること。</p> <p>a 別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤケーブル(1種キャブタイヤケーブル及びビニルキャブタイヤケーブルを除く。)であること。</p> <p>b 別表第一に規定する電線に係る共通の規定に適合し、かつ、材料及び構造等が以下の(a)から(e)までに掲げる基準に適合するものであること、又は別表第十二の規定に適合するものであること。</p> <p>(a) 材料及び構造</p> <p>i 導体は、附表第七に適合する軟銅集合より線であって断面積が 14 mm^2 以上のもの又は別表第一附表第八の三に適合する軟アルミ集合より線であること。</p> <p>ii～iii (略)</p> <p>(b) (略)</p> <p>(c) 耐食性</p> <p>めっきを施した銅線又は鋼線にあつては、別表第一附表第十二の試験を行なったとき、これに適合すること。</p> <p>(d) 絶縁体又は外装に使用する絶縁物の性質</p> <p>i (略)</p> <p>ii 耐油性</p> <p>絶縁体又は外装にクロロプレンゴム混合物又はクロロスル</p>
--	--

ホン化ポリエチレンゴム混合物を使用するものにあつては、旧解釈別表第一附表第二十2の試験を行ったとき、これに適合すること。

iii 耐燃性

(i) 絶縁体（ホルダー用のものを除く。）又は外装にクロロブレンゴム混合物又はクロロスルホン化ポリエチレンゴム混合物を使用するものにあつては、旧解釈別表第一附表第二十一1の試験を行ったとき、これに適合すること。

(ii) 絶縁体（ホルダー用のものを除く。）又は外装に耐燃性エチレンゴム混合物、耐燃性ポリエチレン混合物又は耐燃性ポリオレフィン混合物を使用するものにあつては、旧解釈別表第一附表第二十一2の試験を行ったとき、これに適合すること。

(e) (略)

(ハ) ～ (ニ) (略)

ロ～二 (略)

(101) 電気さく用電源装置

イ 構造

(イ) ～ (ヘ) (略)

(ト) 屋外用のものの電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。

ロ～ハ (略)

ホン化ポリエチレンゴム混合物を使用するものにあつては、別表第一附表第二十2の試験を行ったとき、これに適合すること。

iii 耐燃性

(i) 絶縁体（ホルダー用のものを除く。）又は外装にクロロブレンゴム混合物又はクロロスルホン化ポリエチレンゴム混合物を使用するものにあつては、別表第一附表第二十一1の試験を行ったとき、これに適合すること。

(ii) 絶縁体（ホルダー用のものを除く。）又は外装に耐燃性エチレンゴム混合物、耐燃性ポリエチレン混合物又は耐燃性ポリオレフィン混合物を使用するものにあつては、別表第一附表第二十一2の試験を行ったとき、これに適合すること。

(e) (略)

(ハ) ～ (ニ) (略)

ロ～二 (略)

(101) 電気さく用電源装置

イ 構造

(イ) ～ (ヘ) (略)

(ト) 屋外用のものの電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。

ロ～ハ (略)

<p>(101の2) 電気浴器用電源装置</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ト) (略)</p> <p>(チ) 電源電線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>(リ) 出力端子部から電極までの配線は、<u>旧解釈別表第一</u>の規定又は別表第十二の規定に適合する直径が 1.6 mm以上の絶縁電線又は断面積が 1.25 mm^2以上のキャブタイヤケーブルであること。</p> <p>(ヌ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(102) 直流電源装置</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 電池充電用のもの（機器組み込み用のものを除く。）及びおもちゃ用のものにあつては、絶縁変圧器を使用すること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で<u>旧解釈別表第四 1 (2)</u>ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>(ロ)～(ハ) (略)</p> <p>(ニ) 出力側に接続器を有するものにあつては、出力側の接続器は、次に適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b aに掲げるもの以外のものにあつては、a 及び<u>旧解釈別表第四 6 (1)</u>ニ(ホ) aに掲げるものに接続して使用することができ</p>	<p>(101の2) 電気浴器用電源装置</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ)～(ト) (略)</p> <p>(チ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するゴムキャブタイヤケーブル若しくはビニルキャブタイヤケーブルであつて、その断面積が 0.75 mm^2以上のものであること。</p> <p>(リ) 出力端子部から電極までの配線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する直径が 1.6 mm以上の絶縁電線又は断面積が 1.25 mm^2以上のキャブタイヤケーブルであること。</p> <p>(ヌ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(102) 直流電源装置</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 電池充電用のもの（機器組み込み用のものを除く。）及びおもちゃ用のものにあつては、絶縁変圧器を使用すること。ただし、容易に取り外すことができる部分を取り外した状態で別表第四 1 (2)ハの図に示す試験指が充電部に触れないものにあつては、この限りでない。この場合において、試験指に加える力は、30N とする。</p> <p>(ロ)～(ハ) (略)</p> <p>(ニ) 出力側に接続器を有するものにあつては、出力側の接続器は、次に適合すること。</p> <p>a (略)</p> <p>b aに掲げるもの以外のものにあつては、a 及び別表第四 6 (1)ニ(ホ) aに掲げるものに接続して使用することができないもの</p>
--	--

<p>ないものであること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(103) (略)</p> <p>(104) コンデンサー型雑音防止器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 口出し線を有するものにあつては、その口出し線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、導体の断面積が 0.75 mm^2 以上で、かつ、長さが 20 cm 以上のものであること。</p> <p>(ロ) ～ (ト) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(105) フィルター形雑音防止器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 口出し線を有するものにあつては、その口出し線は、<u>旧解釈</u>別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、導体の断面積が 0.75 mm^2 以上で、かつ、長さが 20 cm 以上のものであること。</p> <p>(ロ) ～ (二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(106) 漏電検知器</p> <p>イ (略)</p>	<p>であること。</p> <p>(ホ) (略)</p> <p>ロ～ト (略)</p> <p>(103) (略)</p> <p>(104) コンデンサー型雑音防止器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 口出し線を有するものにあつては、その口出し線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、導体の断面積が 0.75 mm^2 以上で、かつ、長さが 20 cm 以上のものであること。</p> <p>(ロ) ～ (ト) (略)</p> <p>ロ～二 (略)</p> <p>(105) コンデンサー型雑音防止器</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 口出し線を有するものにあつては、その口出し線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合する電線であつて、導体の断面積が 0.75 mm^2 以上で、かつ、長さが 20 cm 以上のものであること。</p> <p>(ロ) ～ (二) (略)</p> <p>ロ～ホ (略)</p> <p>(106) 漏電検知器</p> <p>イ (略)</p>
---	--

<p>ロ 端子部の強度</p> <p>旧解釈別表第四附表第一の試験を行ったとき、これに適合すること。</p> <p>ハ～二 (略)</p> <p>ホ 温度上昇</p> <p>試験品を通常の使用状態で出力回路に定格負荷を接続して、制御電源回路に定格電圧に等しい電圧を加え、主回路に定格電流に等しい電流を通じ、その 1 極に定格感度電流に等しいもれ電流を重畳して試験品を動作させ、各部の温度上昇がほぼ一定となった時の熱電温度計法（巻線の温度の測定にあつては、抵抗法）により測定した各部の温度は、旧解釈別表第四附表第三 2 の表 1 に掲げる値以下であること。</p> <p>ヘ 絶縁性能</p> <p>ホに規定する試験の直後において、旧解釈別表第四附表第四の試験を行ったとき、これに適合すること。ただし、絶縁変圧器又は零相変流器の 2 次側の回路であつて、電圧が 30V 以下の部分にあつては、この限りでない。</p> <p>(107) 電灯付家具、コンセント付家具その他の電気機械器具付家具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 点滅器（電源を開閉するものに限る。）及び接続器は、旧解釈別表第四（2（2）ヘ（ロ）及び（ハ）を除く。）の規定に適合するものであること。</p> <p>(ロ) ～ (ニ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(108) 電気ペンシル</p>	<p>ロ 端子部の強度</p> <p>別表第四附表第一の試験を行ったとき、これに適合すること。</p> <p>ハ～二 (略)</p> <p>ホ 温度上昇</p> <p>試験品を通常の使用状態で出力回路に定格負荷を接続して、制御電源回路に定格電圧に等しい電圧を加え、主回路に定格電流に等しい電流を通じ、その 1 極に定格感度電流に等しいもれ電流を重畳して試験品を動作させ、各部の温度上昇がほぼ一定となった時の熱電温度計法（巻線の温度の測定にあつては、抵抗法）により測定した各部の温度は、別表第四附表第三 2 の表 1 に掲げる値以下であること。</p> <p>ヘ 絶縁性能</p> <p>ホに規定する試験の直後において、別表第四附表第四の試験を行ったとき、これに適合すること。ただし、絶縁変圧器又は零相変流器の 2 次側の回路であつて、電圧が 30V 以下の部分にあつては、この限りでない。</p> <p>(107) 電灯付家具、コンセント付家具その他の電気機械器具付家具</p> <p>イ 構造</p> <p>(イ) 点滅器（電源を開閉するものに限る。）及び接続器は、別表第四（2（2）ヘ（ロ）及び（ハ）を除く。）の規定に適合するものであること。</p> <p>(ロ) ～ (ニ) (略)</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(108) 電気ペンシル</p>
---	---

イ 構造

(イ) ～ (ロ) (略)

(ハ) 電源電線は、旧解釈別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。

ロ～二 (略)

3 (略)

4 附表

附表第一～附表第六 (略)

附表第七 軟銅集合より線

断面積(mm^2)	20℃における電気抵抗(Ω/km)	
	めっきを施していないもの	めっきを施してあるもの
14	1.32 以下	1.39 以下
22	0.844 以下	0.892 以下
30	0.625 以下	0.661 以下
38	0.496 以下	0.525 以下
50	0.394 以下	0.411 以下
60	0.328 以下	0.329 以下
80	0.230 以下	0.243 以下
100	0.192 以下	0.193 以下

(備考)

1 電気抵抗の測定は、旧解釈別表第一附表第一の備考 1 を準用する。

2 (略)

附表第八 (略)

イ 構造

(イ) ～ (ロ) (略)

(ハ) 電源電線は、別表第一の規定又は別表第十二の規定に適合するキャブタイヤコード若しくはキャブタイヤケーブルであって、その断面積が 0.75 mm^2 以上のものであること。

ロ～二 (略)

3 (略)

4 附表

附表第一～附表第六 (略)

附表第七 軟銅集合より線

断面積(mm^2)	20℃における電気抵抗(Ω/km)	
	めっきを施していないもの	めっきを施してあるもの
14	1.32 以下	1.39 以下
22	0.844 以下	0.892 以下
30	0.625 以下	0.661 以下
38	0.496 以下	0.525 以下
50	0.394 以下	0.411 以下
60	0.328 以下	0.329 以下
80	0.230 以下	0.243 以下
100	0.192 以下	0.193 以下

(備考)

1 電気抵抗の測定は、別表第一附表第一の備考 1 を準用する。

2 (略)

附表第八 (略)

<p>附表第九 引張強さ及び伸びの試験</p> <p>絶縁体又は外装に使用する絶縁物は、1 の試験条件において引張強さ及び伸びの試験を行なったとき、2 の基準に適合すること。</p> <p>1 試験条件</p> <p>旧解釈別表第一附表第十四 1 を準用する。</p> <p>2 (略)</p> <p>附表第十 (略)</p> <p>別表第九 ～ 別表第十二 (略)</p>	<p>附表第九 引張強さ及び伸びの試験</p> <p>絶縁体又は外装に使用する絶縁物は、1 の試験条件において引張強さ及び伸びの試験を行なったとき、2 の基準に適合すること。</p> <p>1 試験条件</p> <p>別表第一附表第十四 1 を準用する。</p> <p>2 (略)</p> <p>附表第十 (略)</p> <p>別表第九 ～ 別表第十二 (略)</p>
---	--